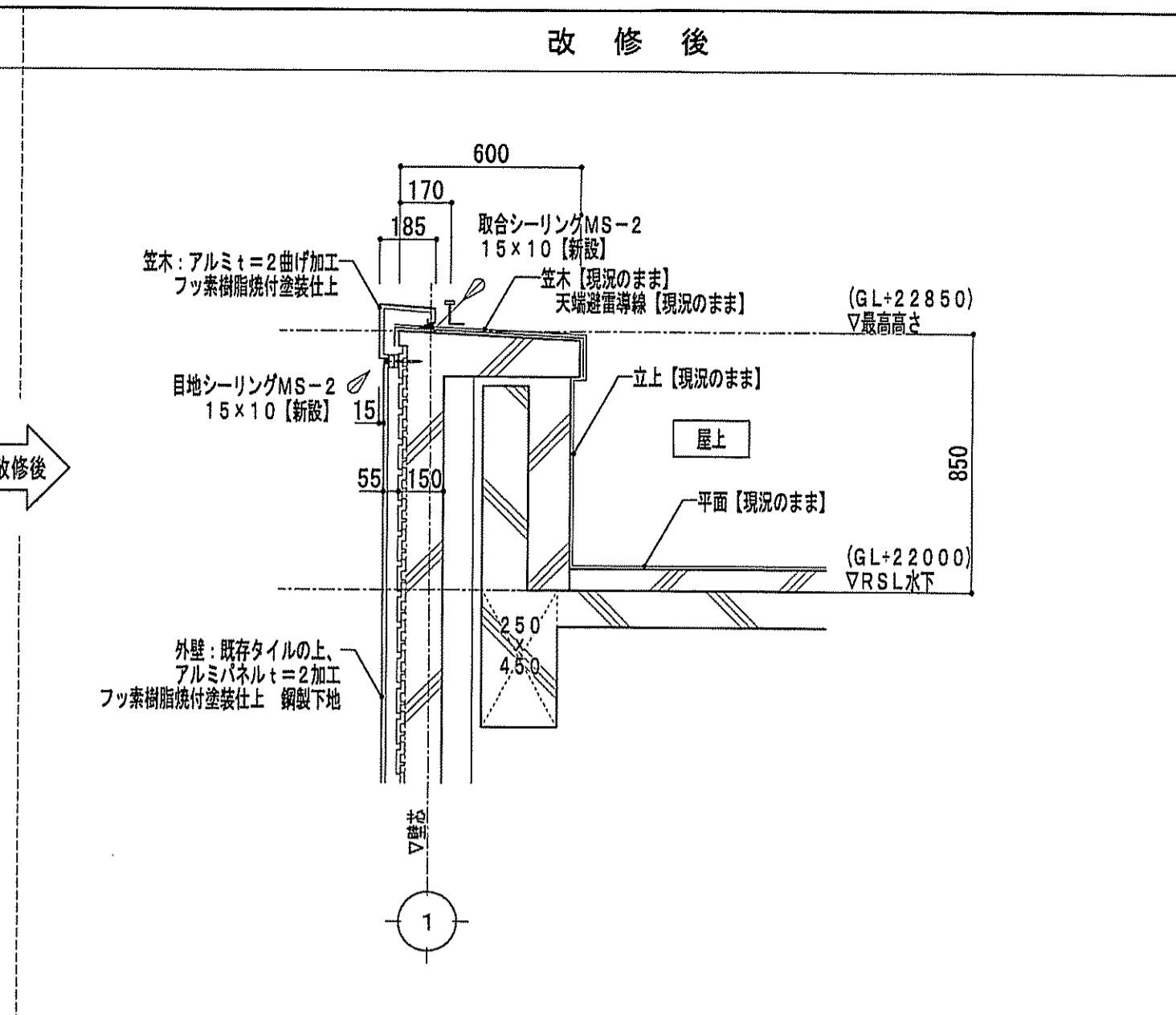
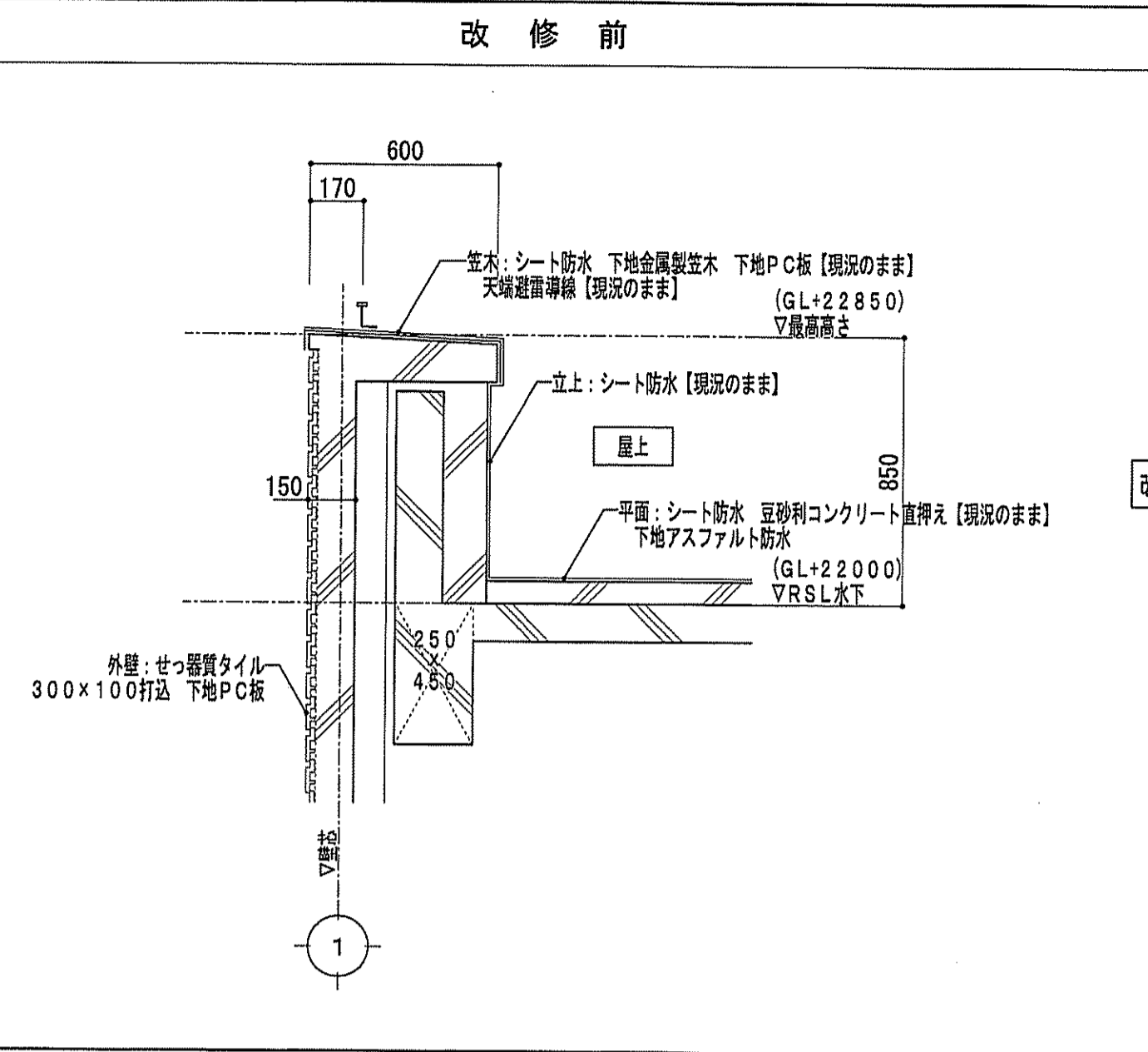


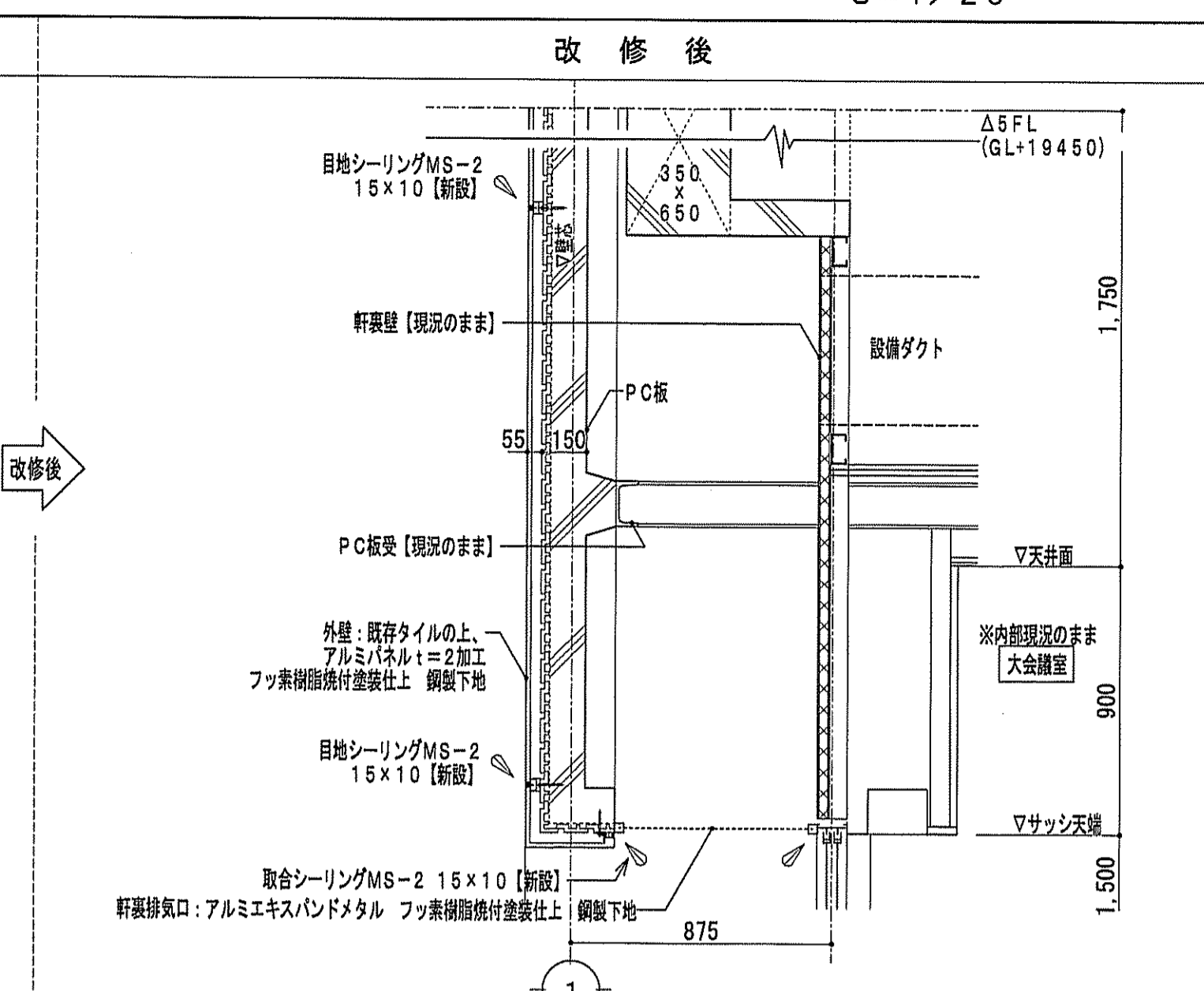
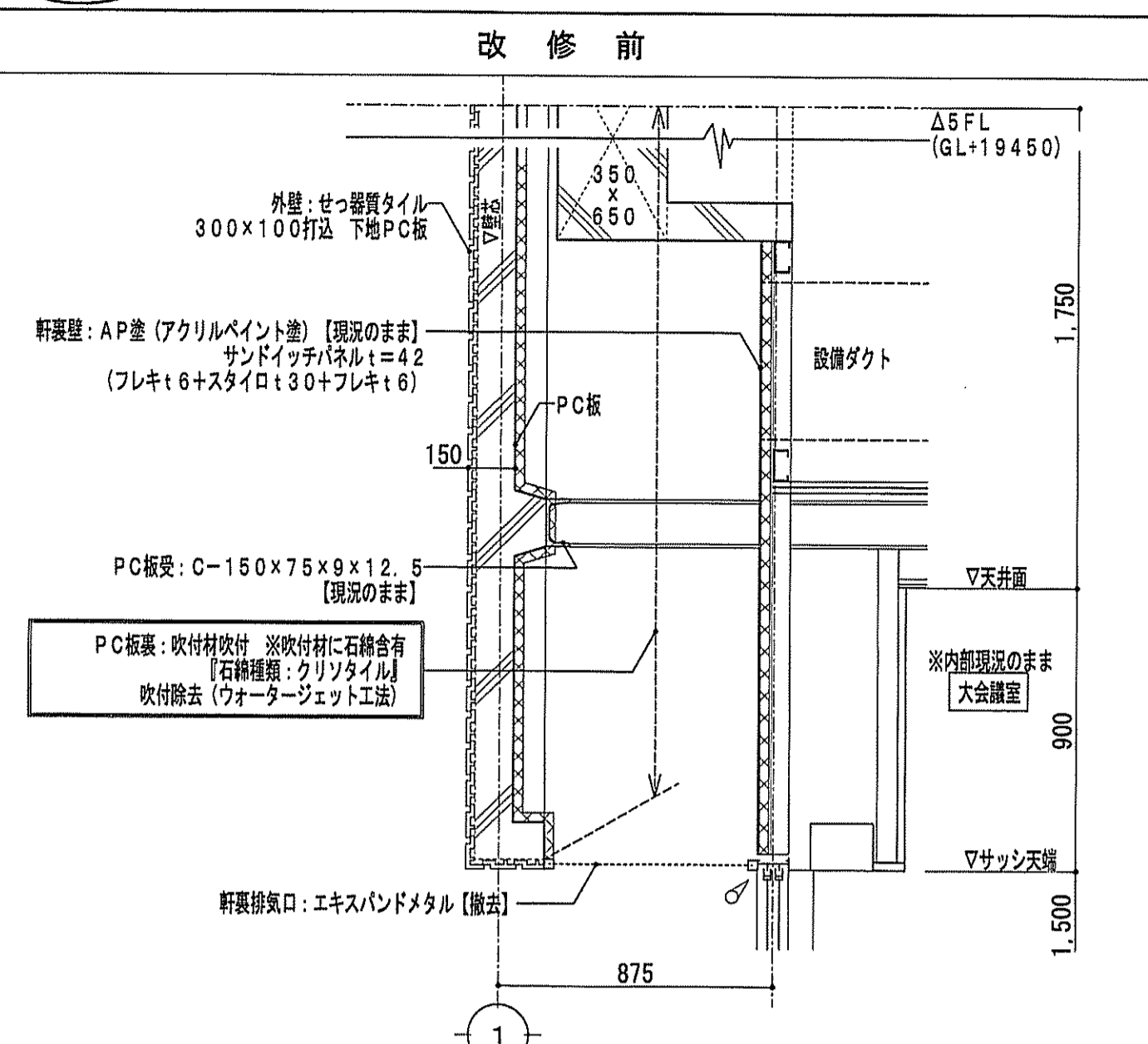
2-1 外壁取合い (南側 屋上パラペット) 詳細図

S=1/20



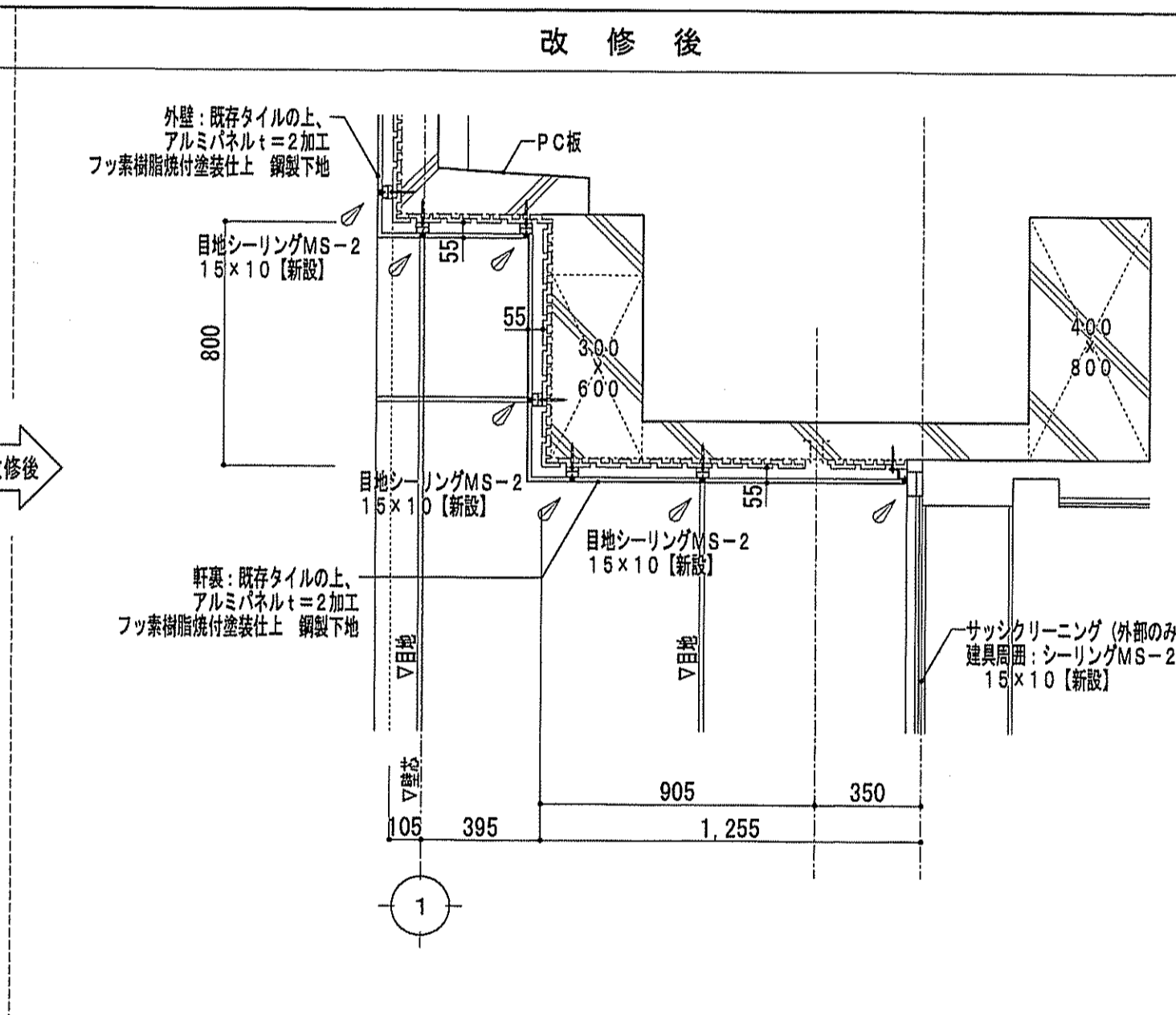
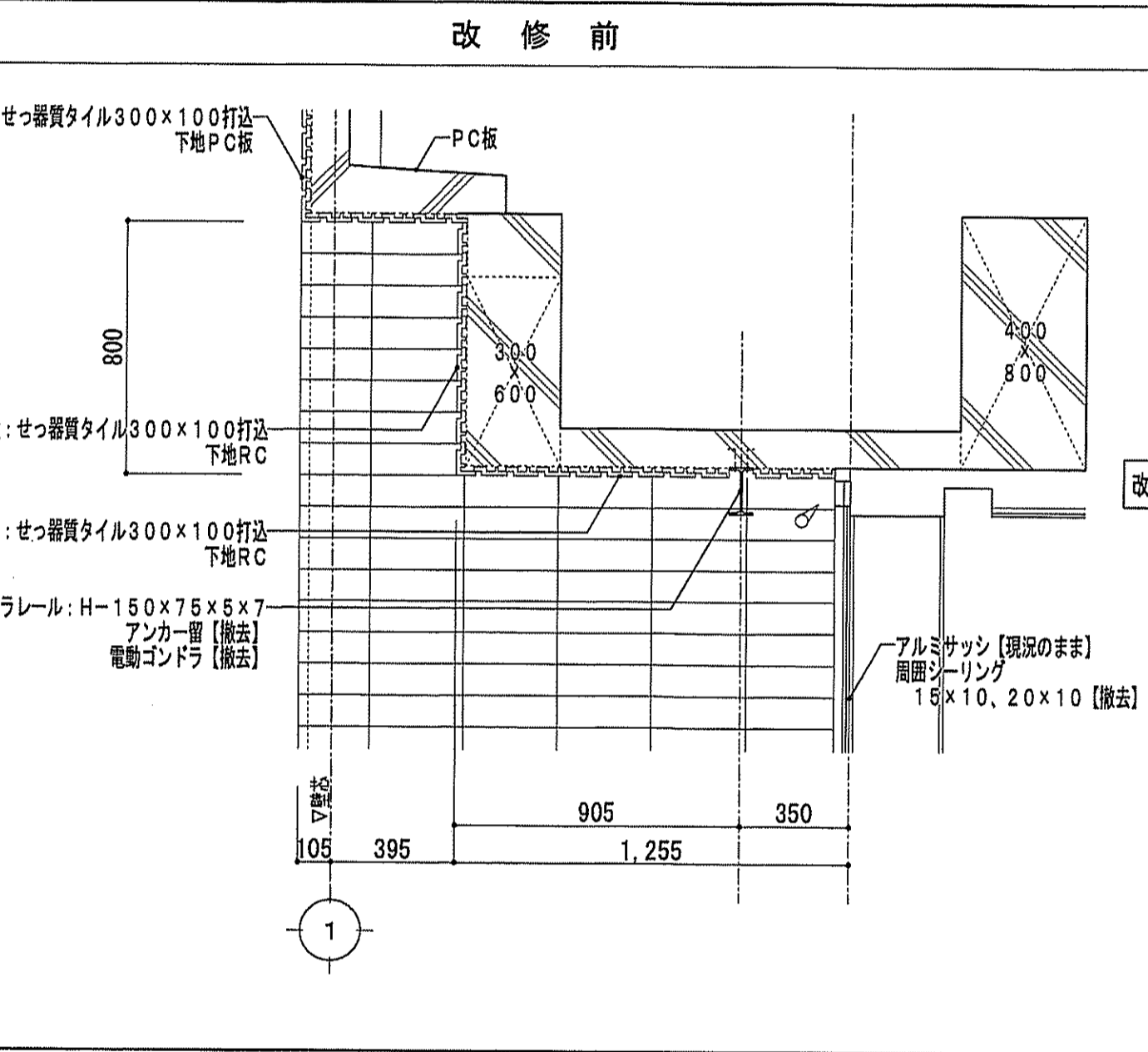
2-2 外壁取合い (南側 排気口廻り) 詳細図

S=1/20



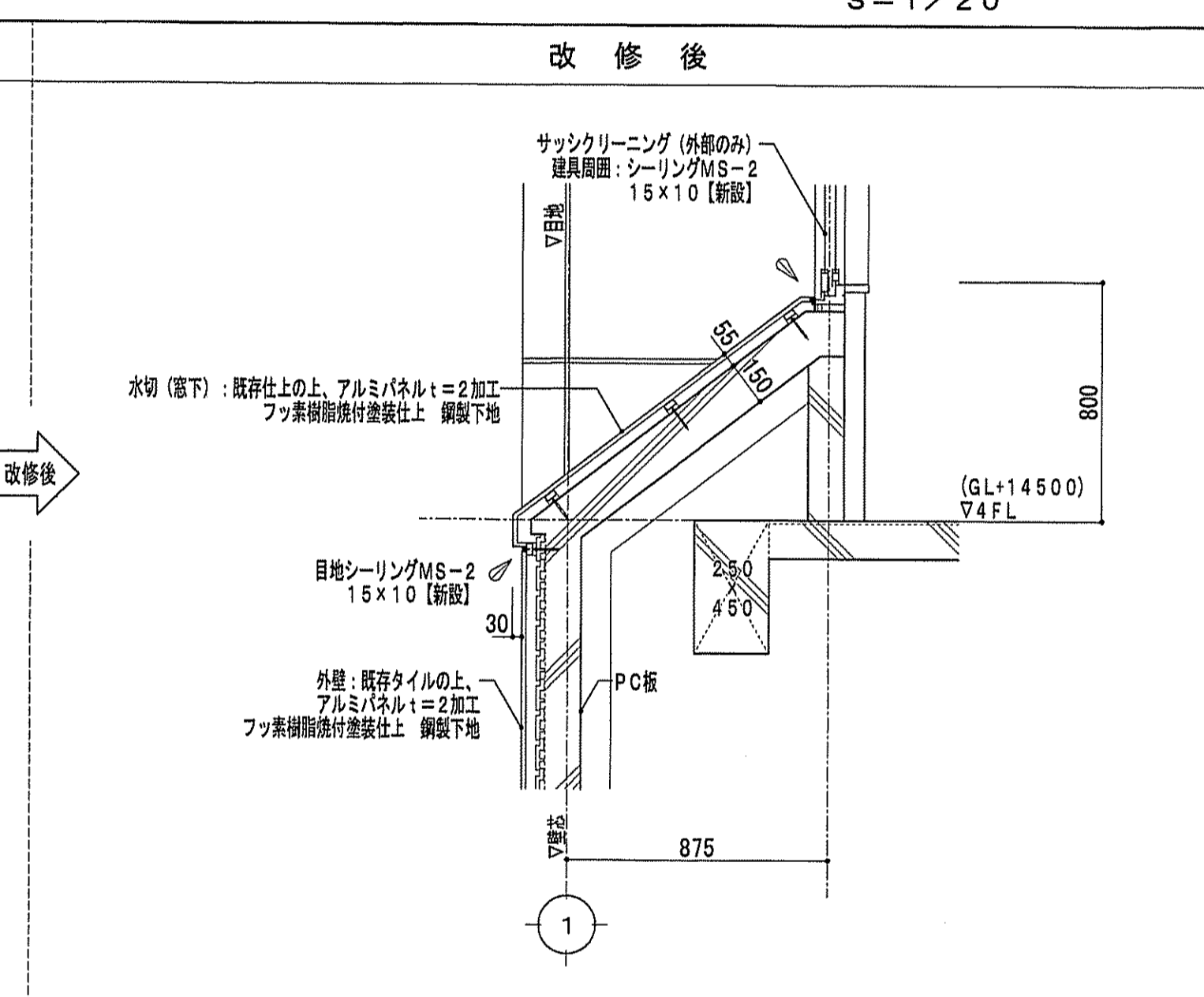
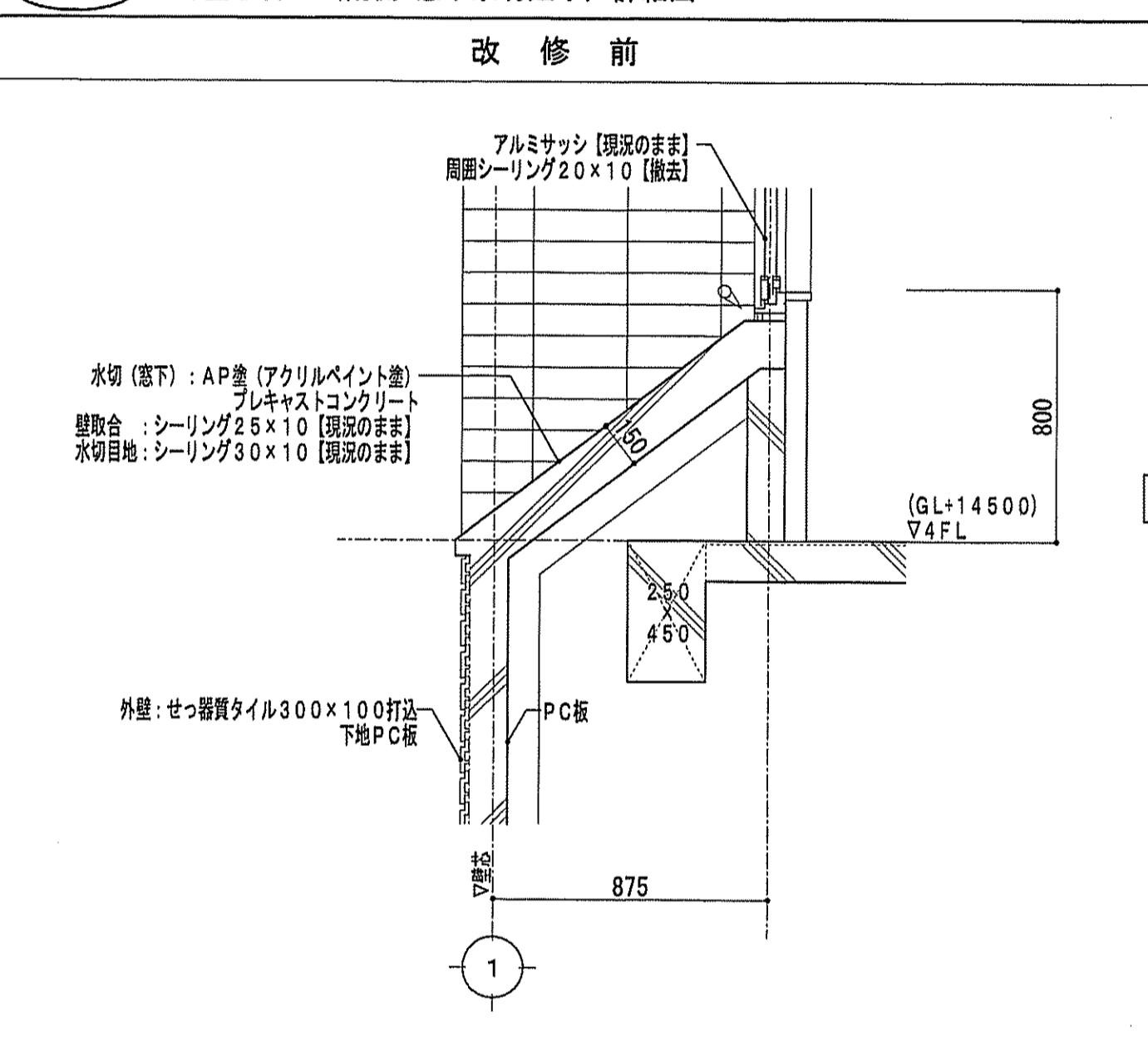
2-3 外壁取合い (南側 軒裏廻り) 詳細図

S=1/20



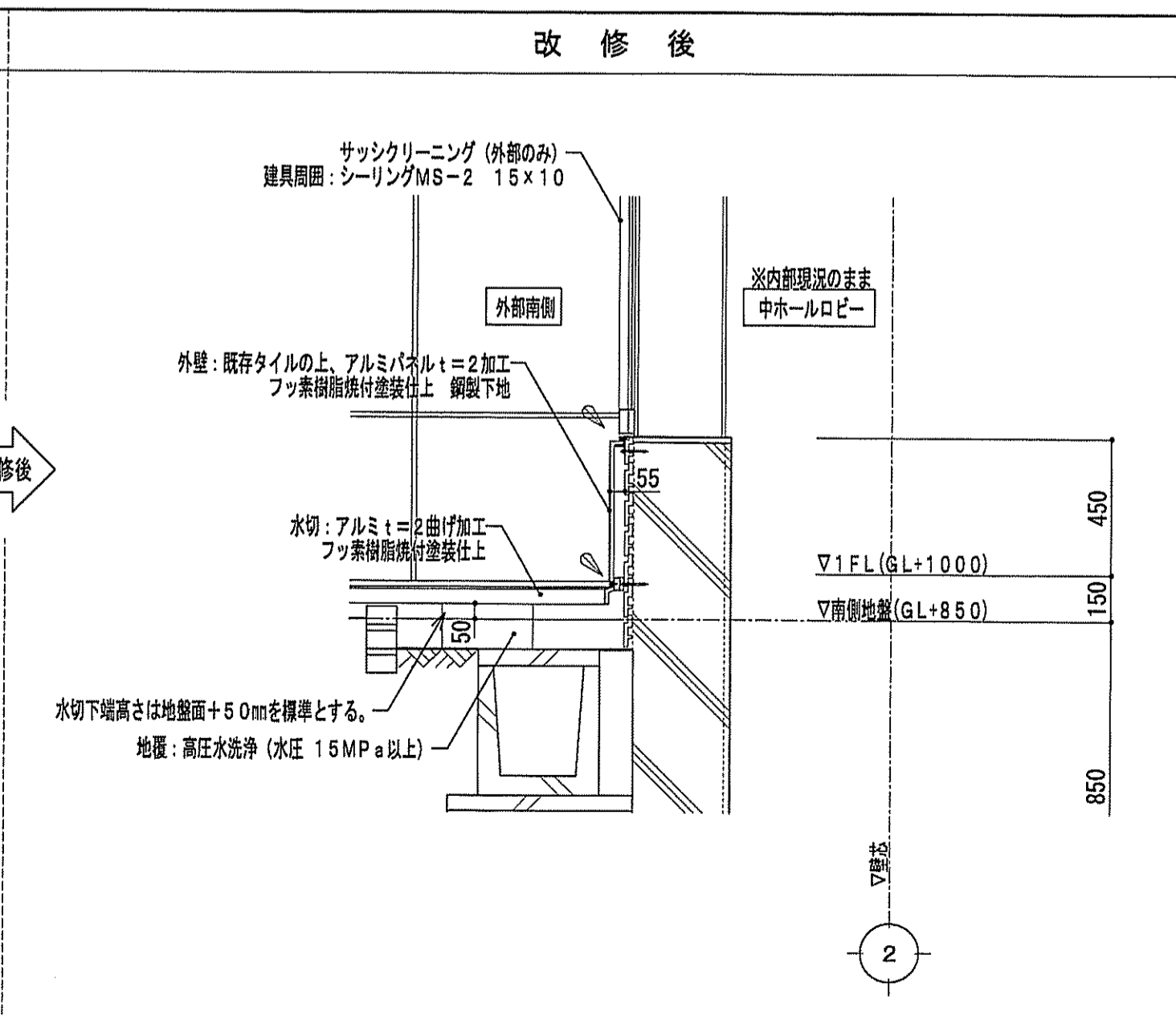
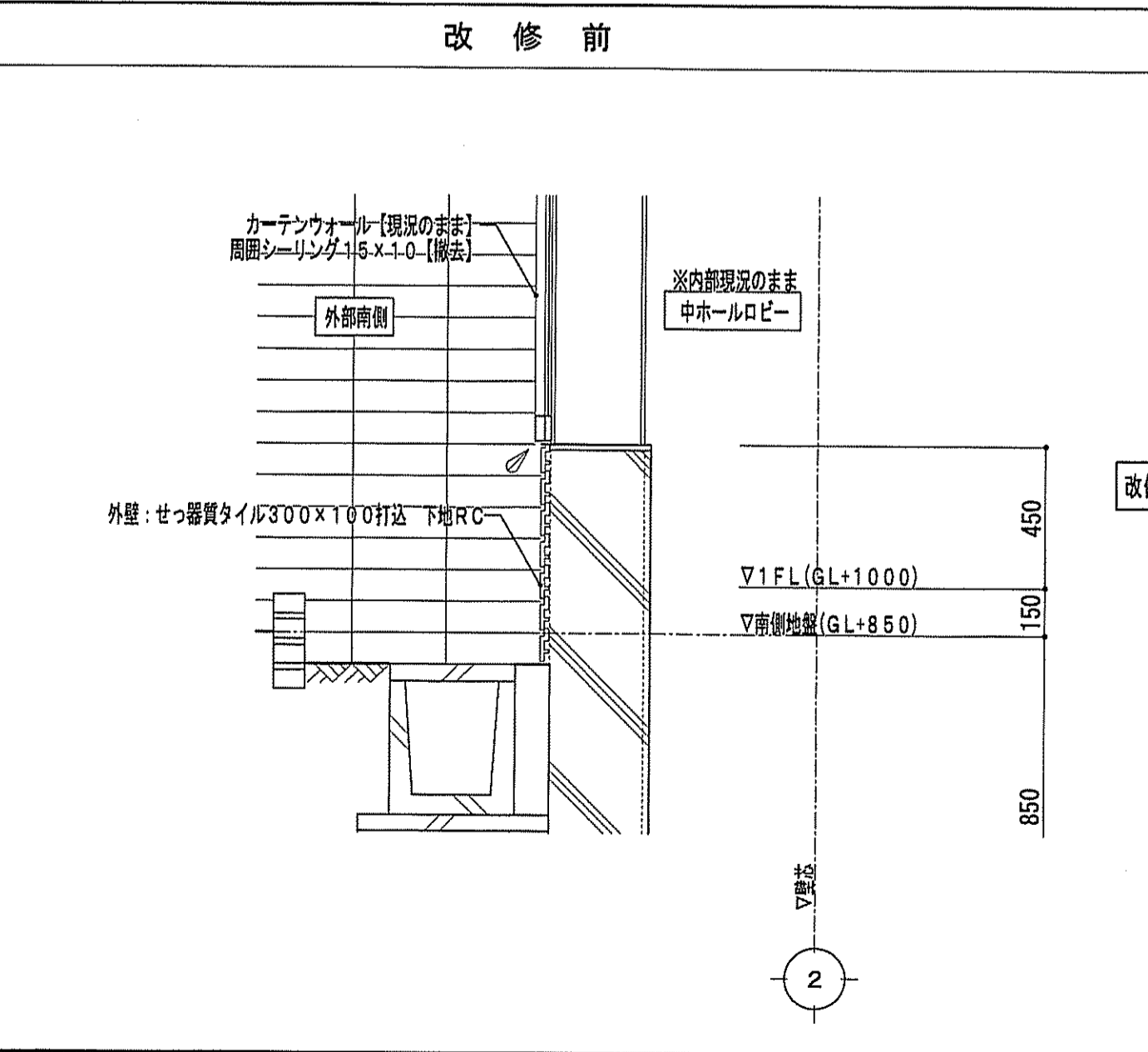
2-4 外壁取合い (南側 窓下水切廻り) 詳細図

S=1/20

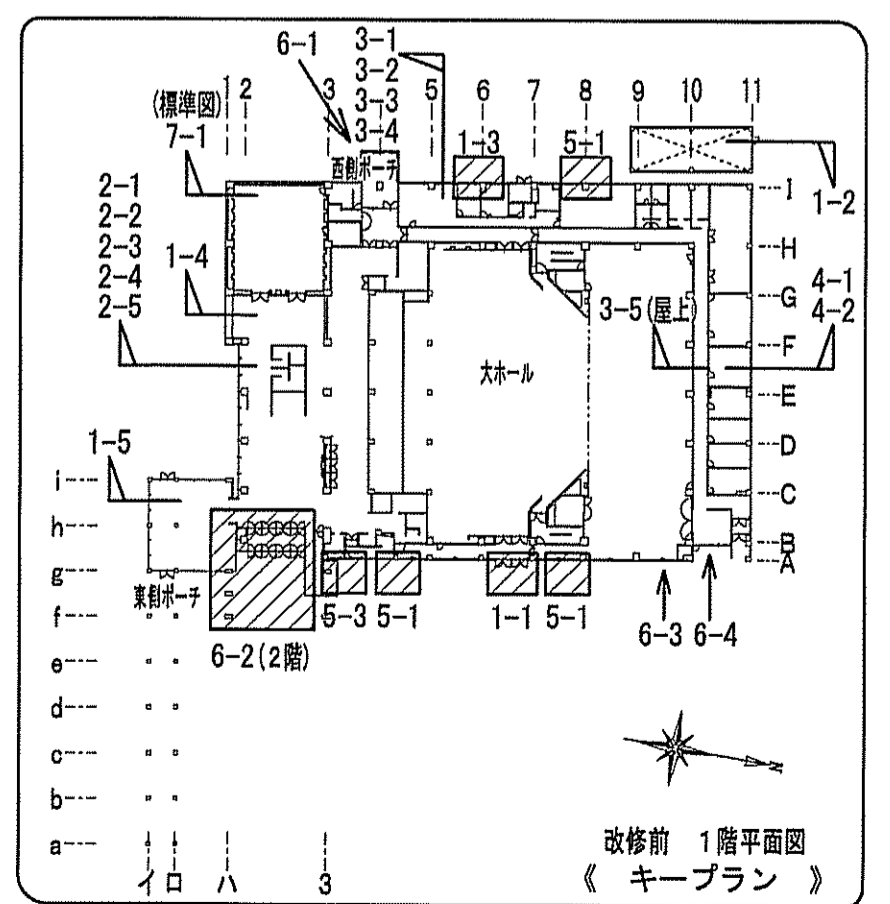


2-5 外壁取合い (南側 地覆) 詳細図

S=1/20

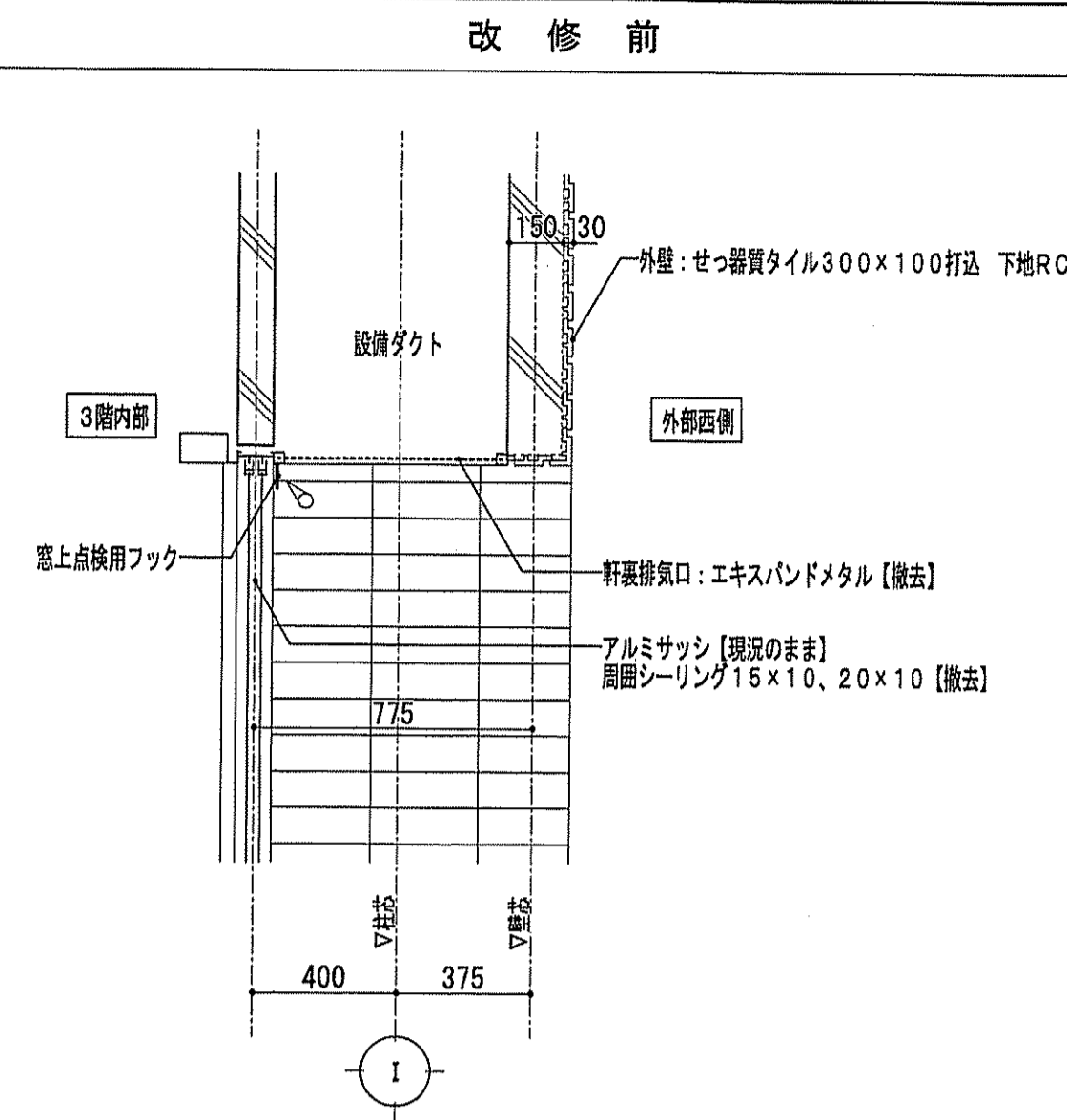


- (共通事項)
- ▲ カッター入れ
  - 撤去範囲を示す
  - シーリング MS-2 10x10
  - シーリング MS-2 15x10
  - シーリング MS-2 20x10
  - シーリング PU-2 15x10
  - シーリング PU-2 20x10
  - シーリング PU-2 25x10

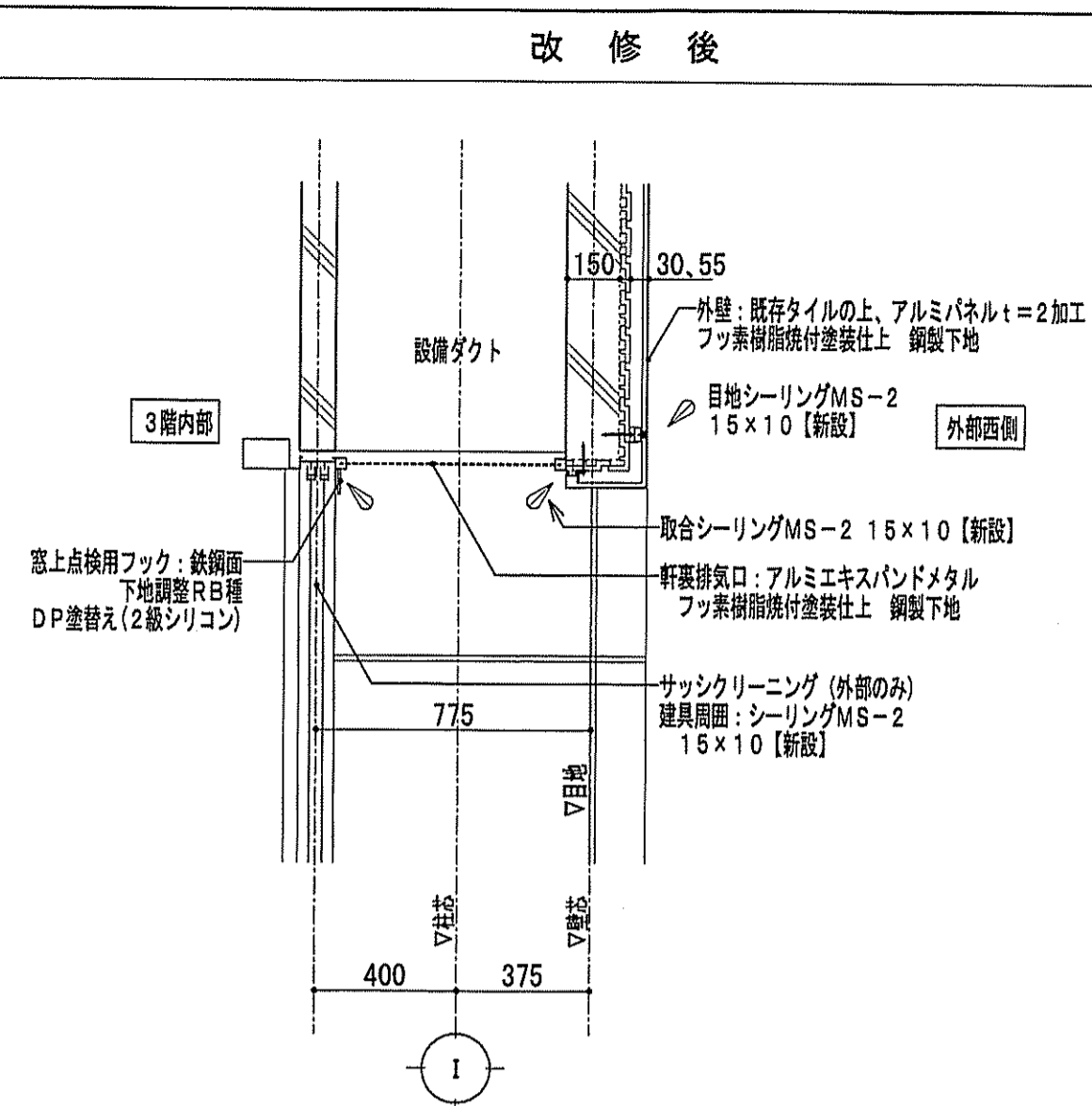


3-1 外壁取合い (西側 排気口廻り) 詳細図

S=1/20

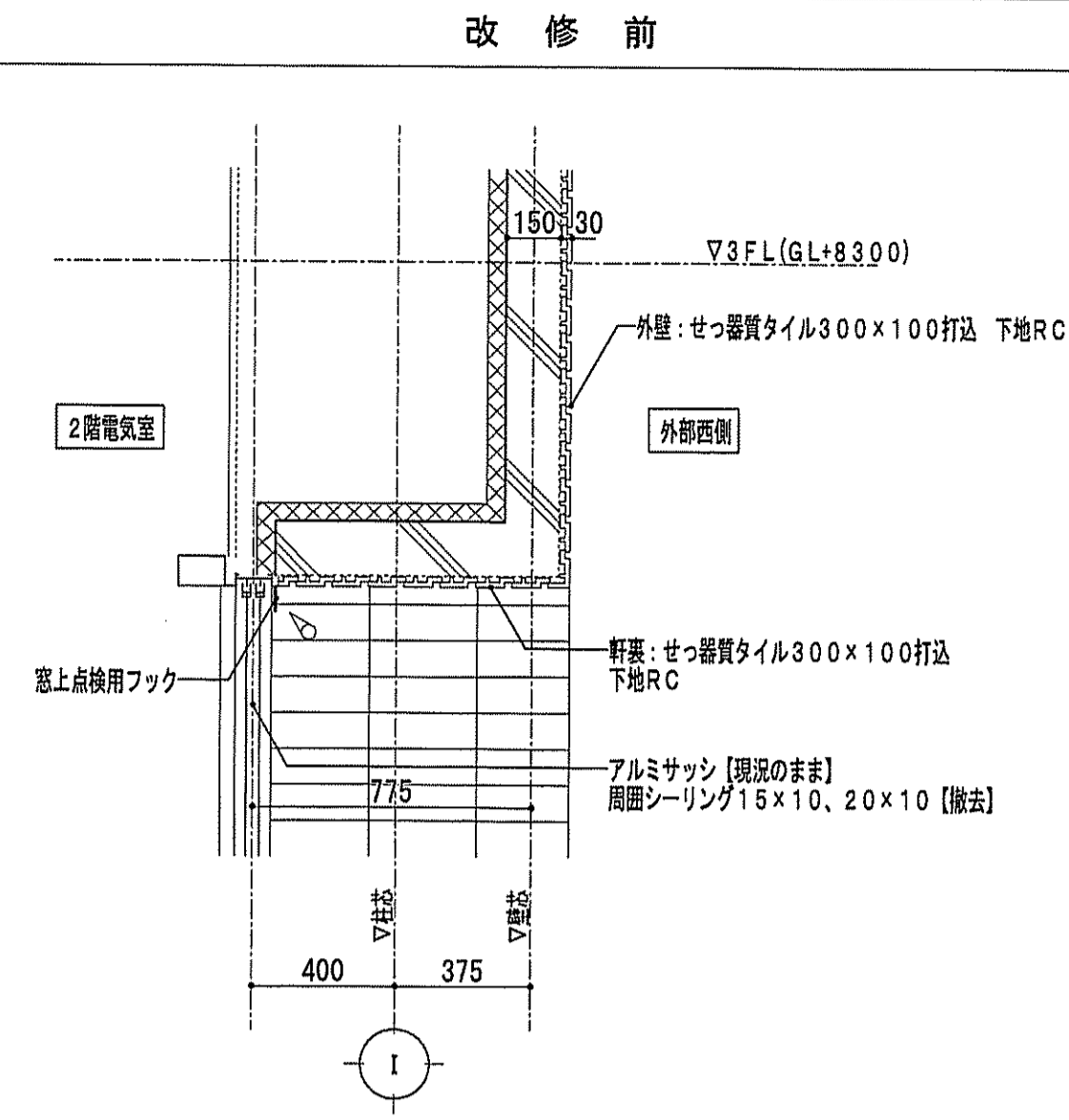


改修後

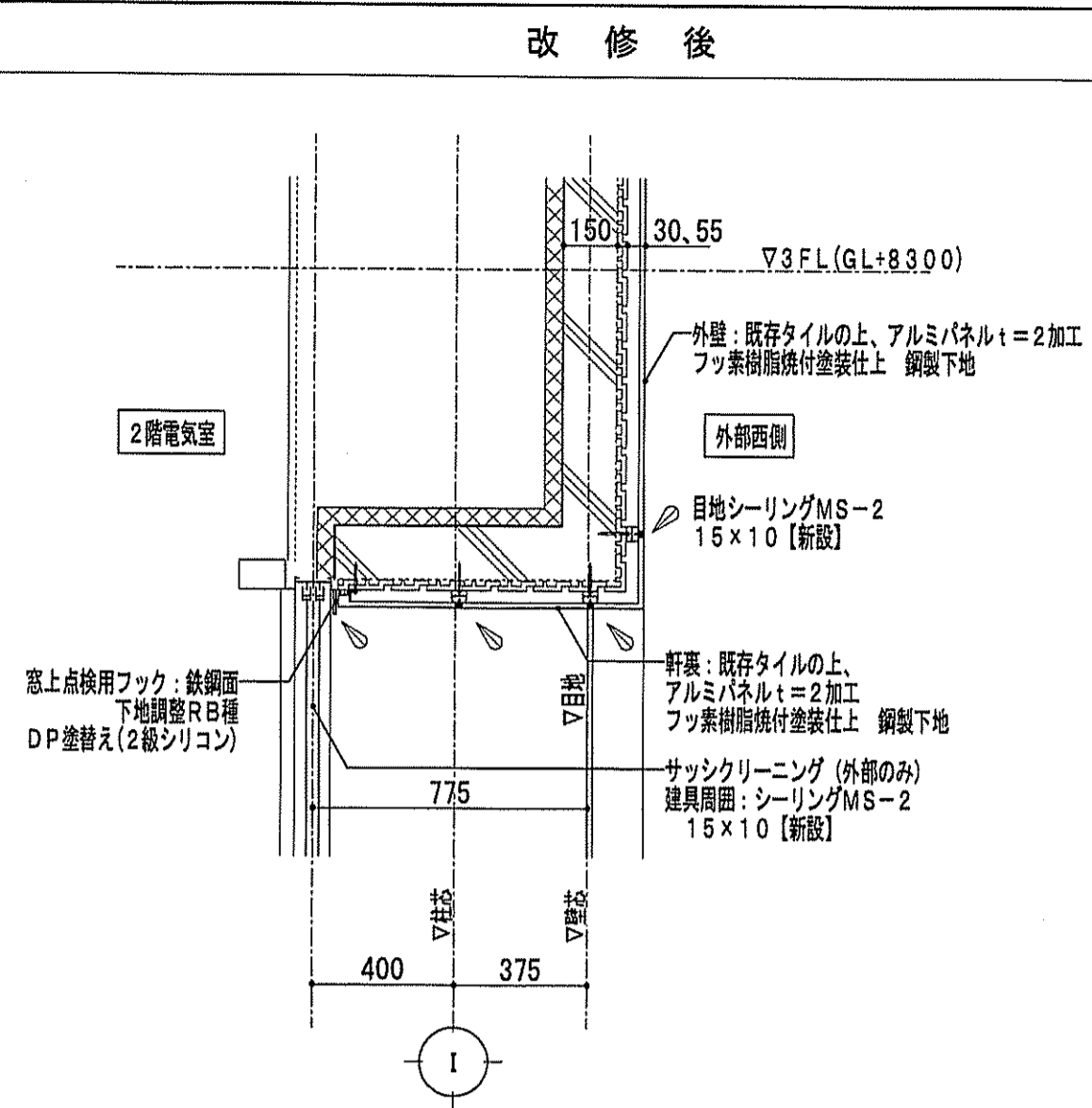


3-2 外壁取合い (西側 軒裏廻り) 詳細図

S=1/20

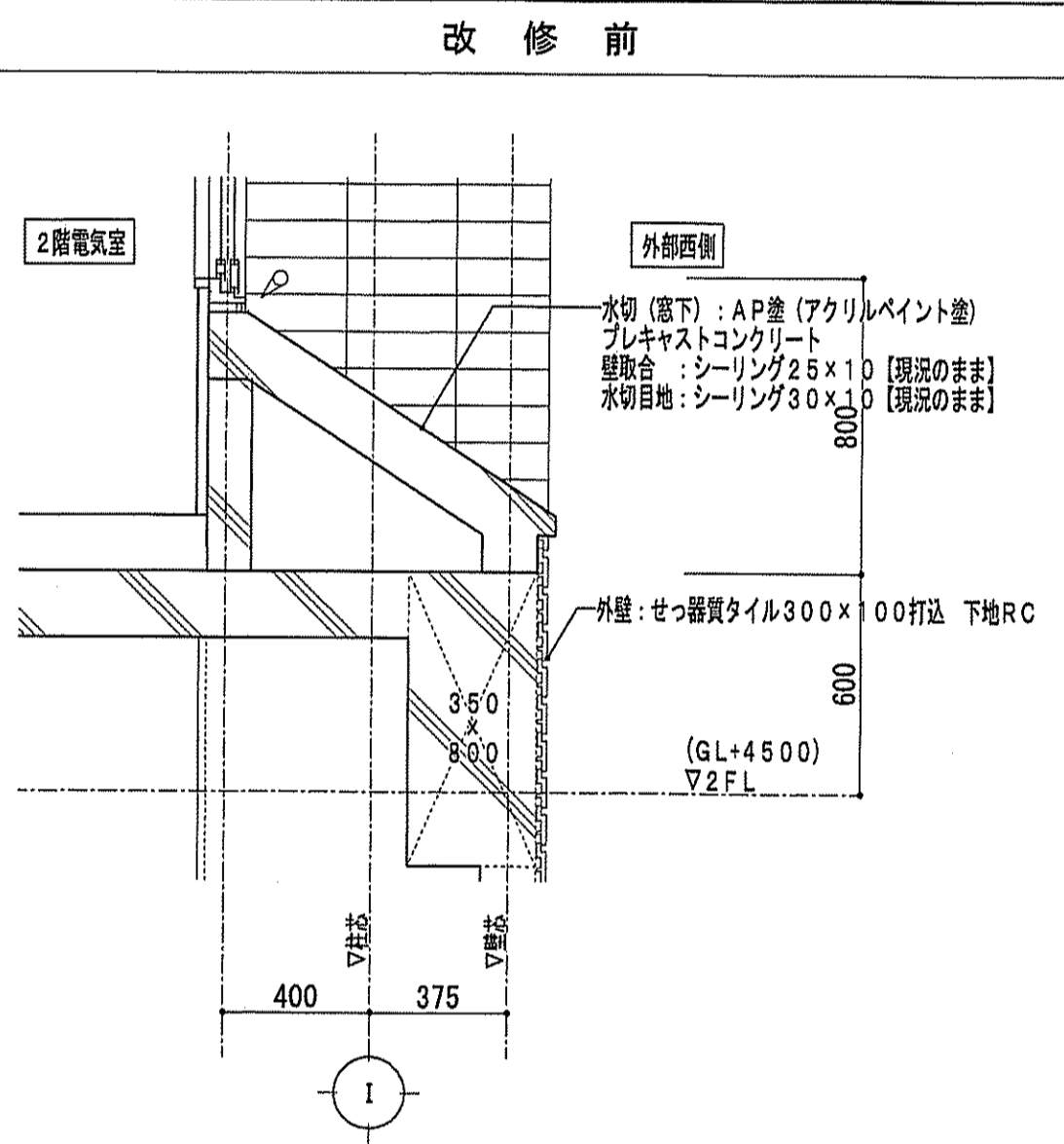


改修後

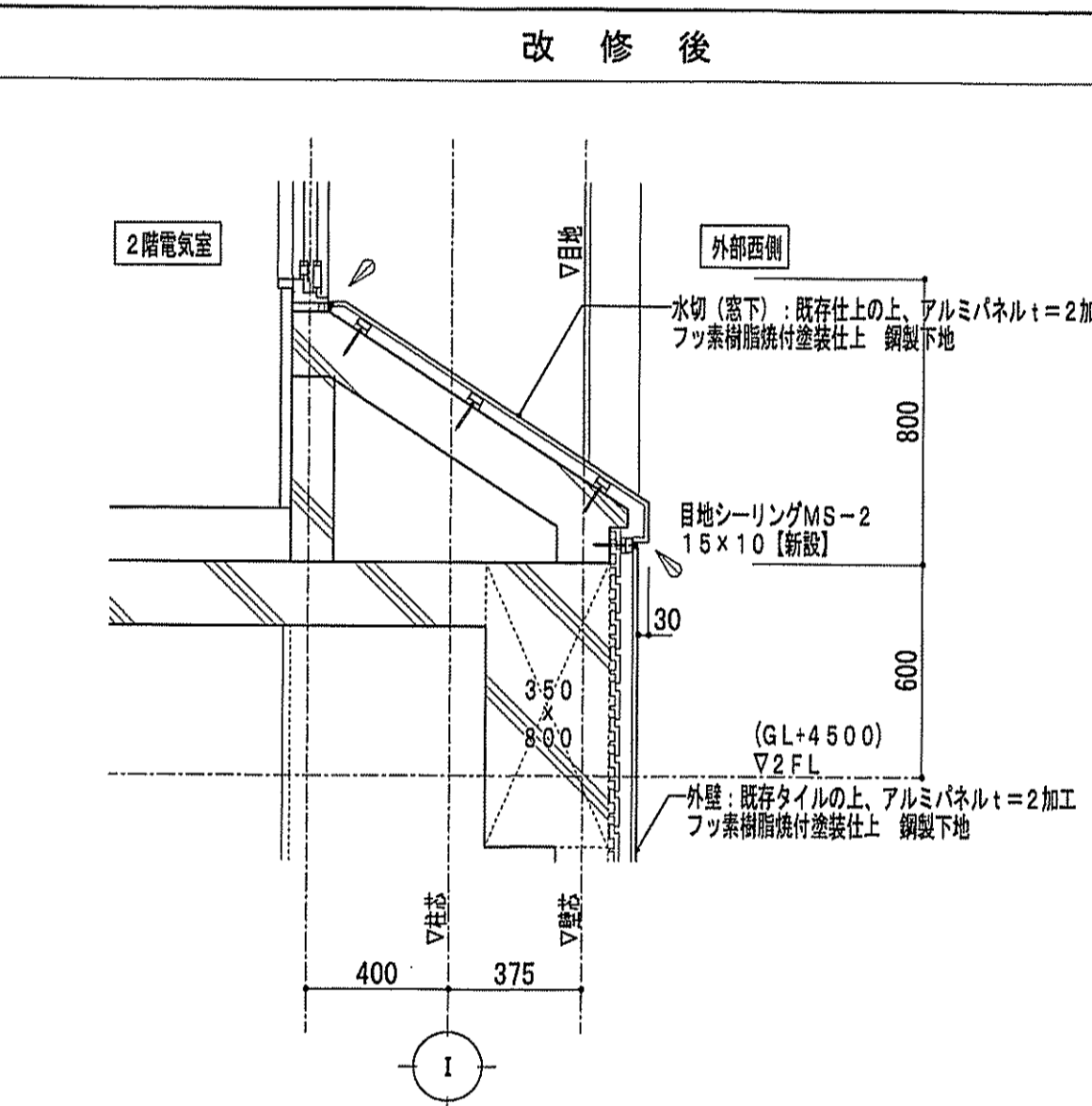


3-3 外壁取合い (西側 窓下水切廻り) 詳細図

S=1/20

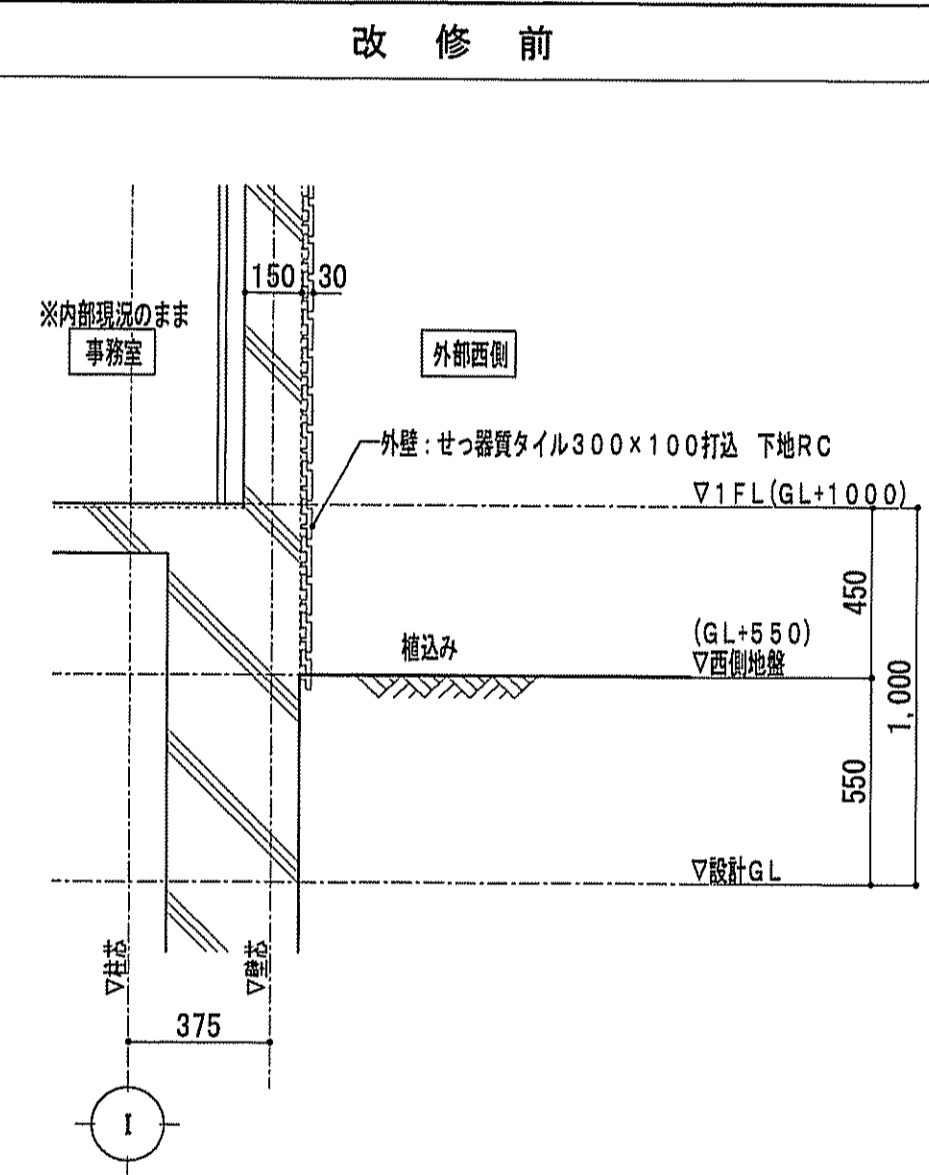


改修後

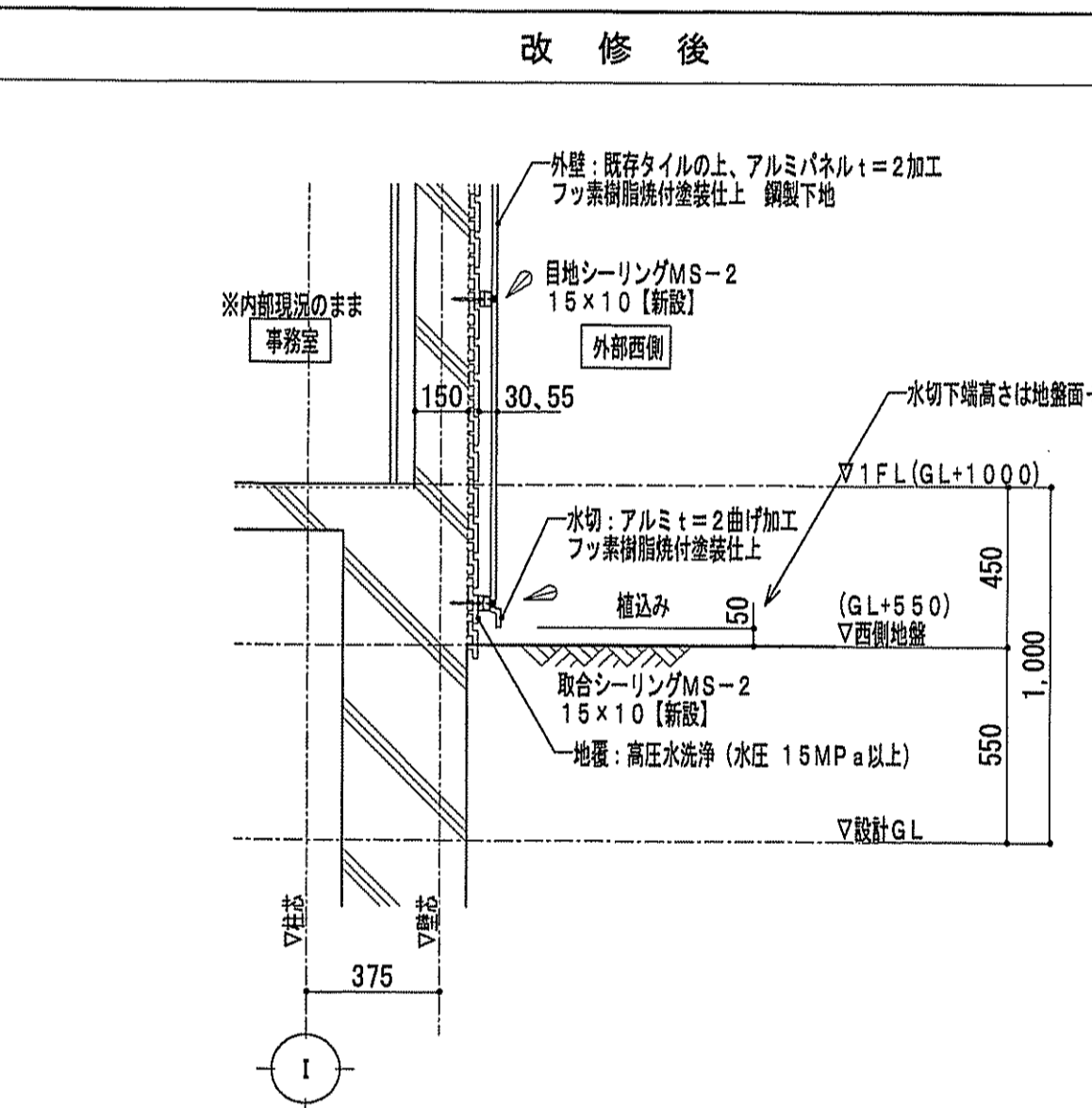


3-4 外壁取合い (西側 地覆) 詳細図

S=1/20

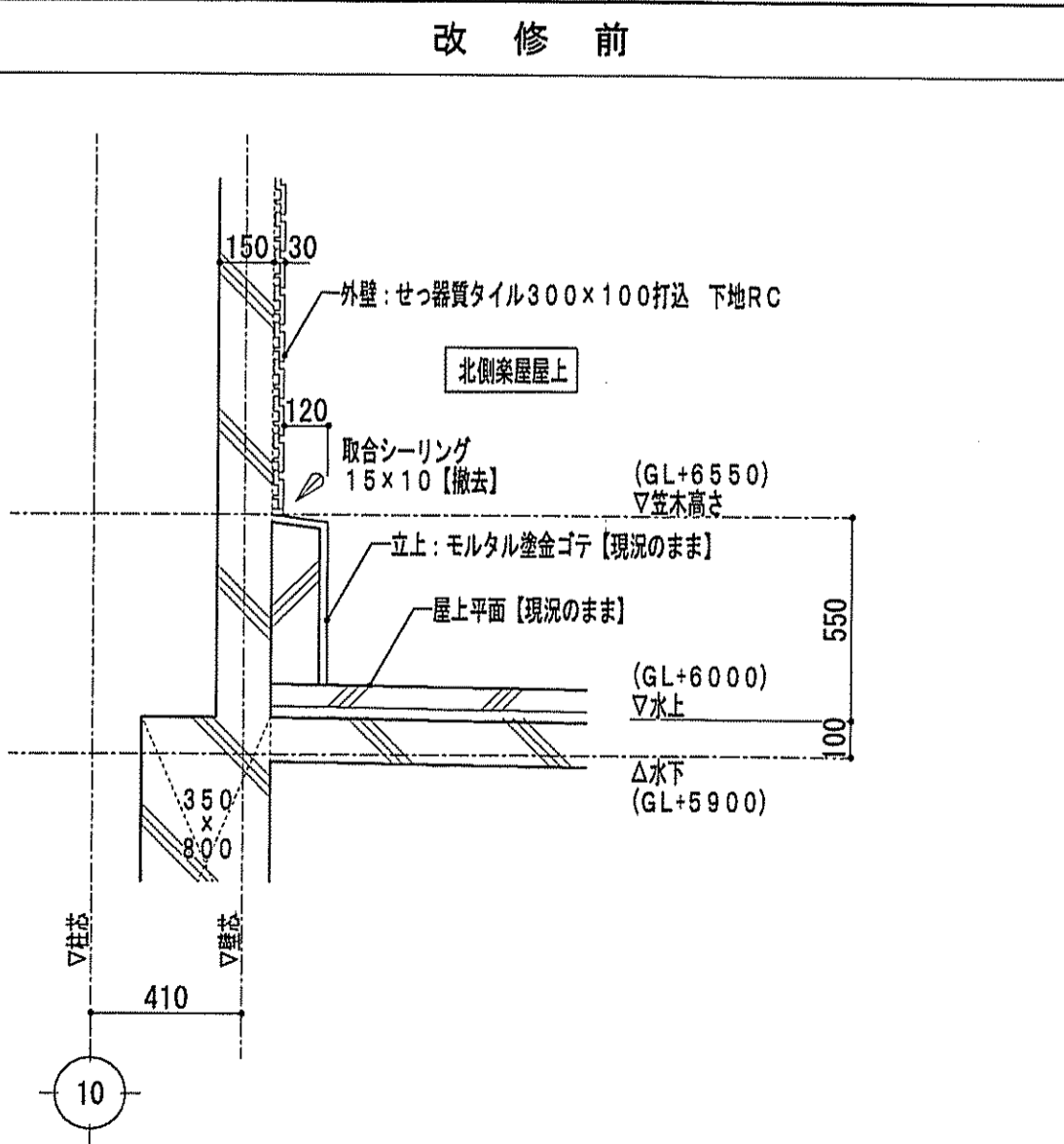


改修後

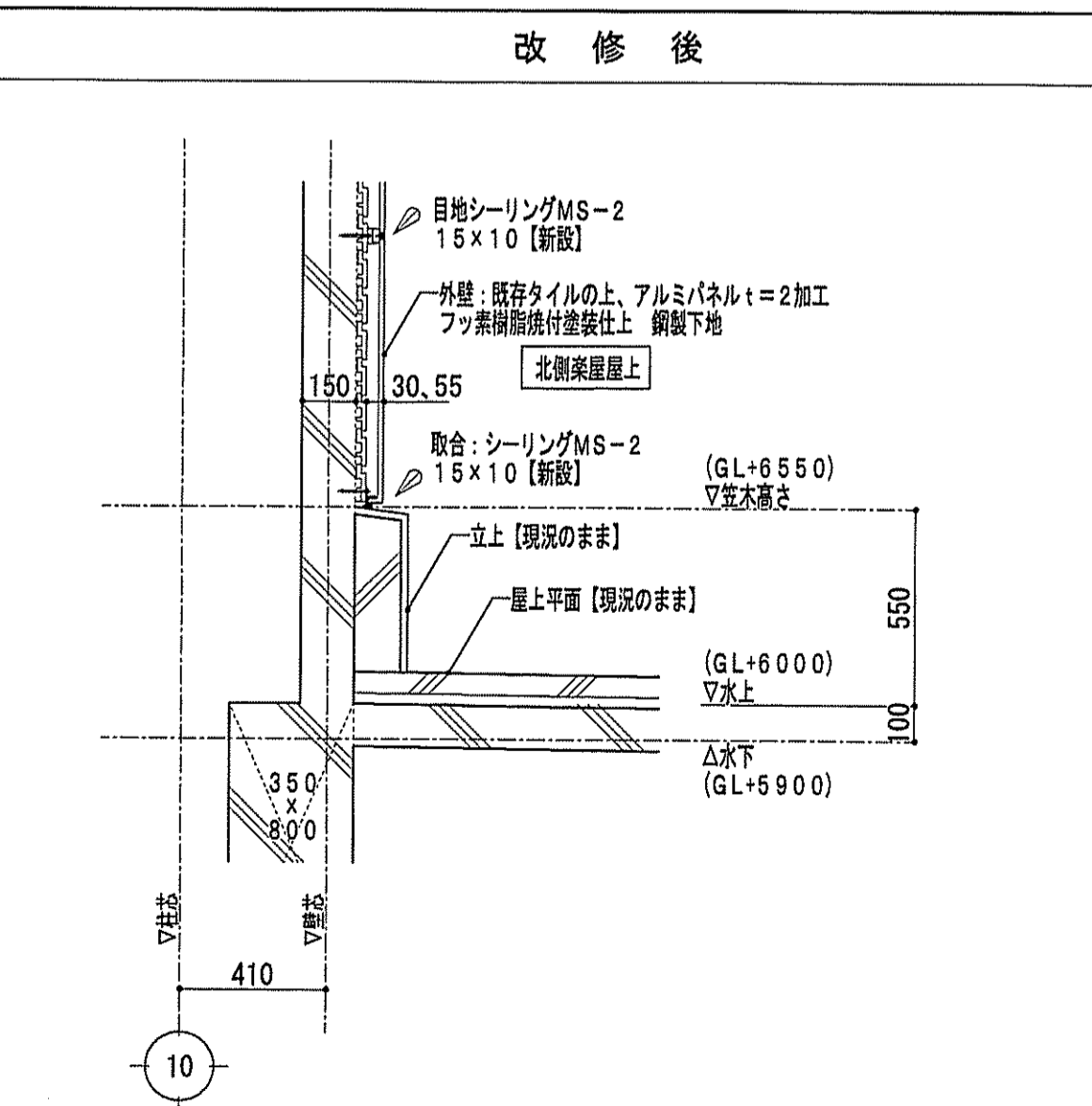


3-5 外壁取合い (北側 楽屋屋上 外壁取合い) 詳細図

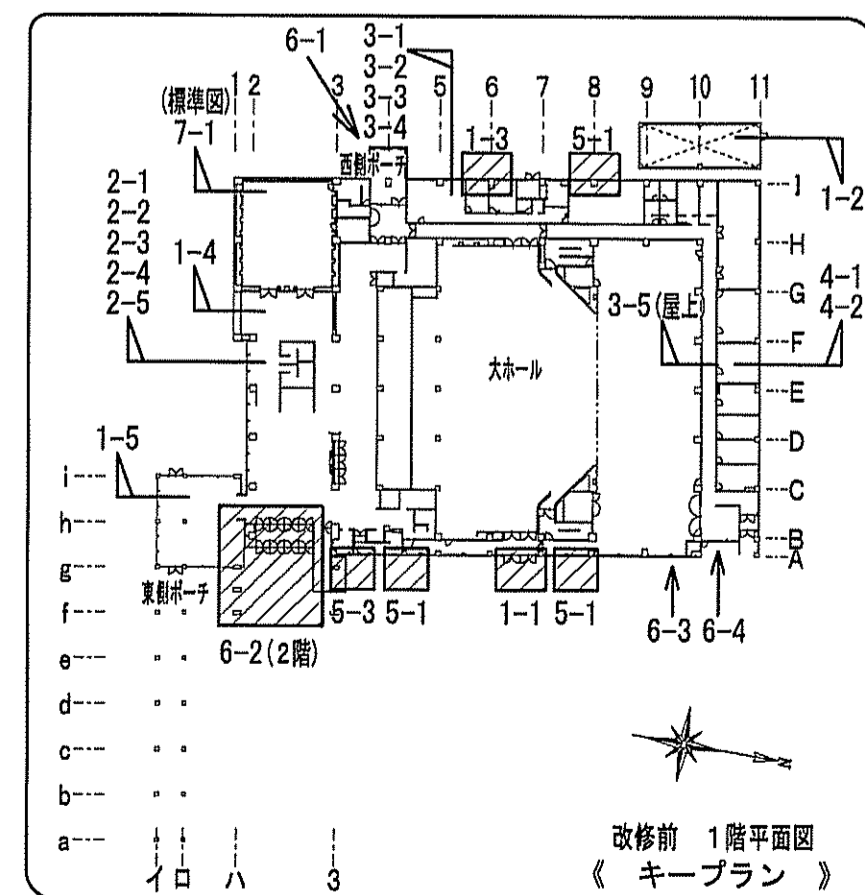
S=1/20



改修後

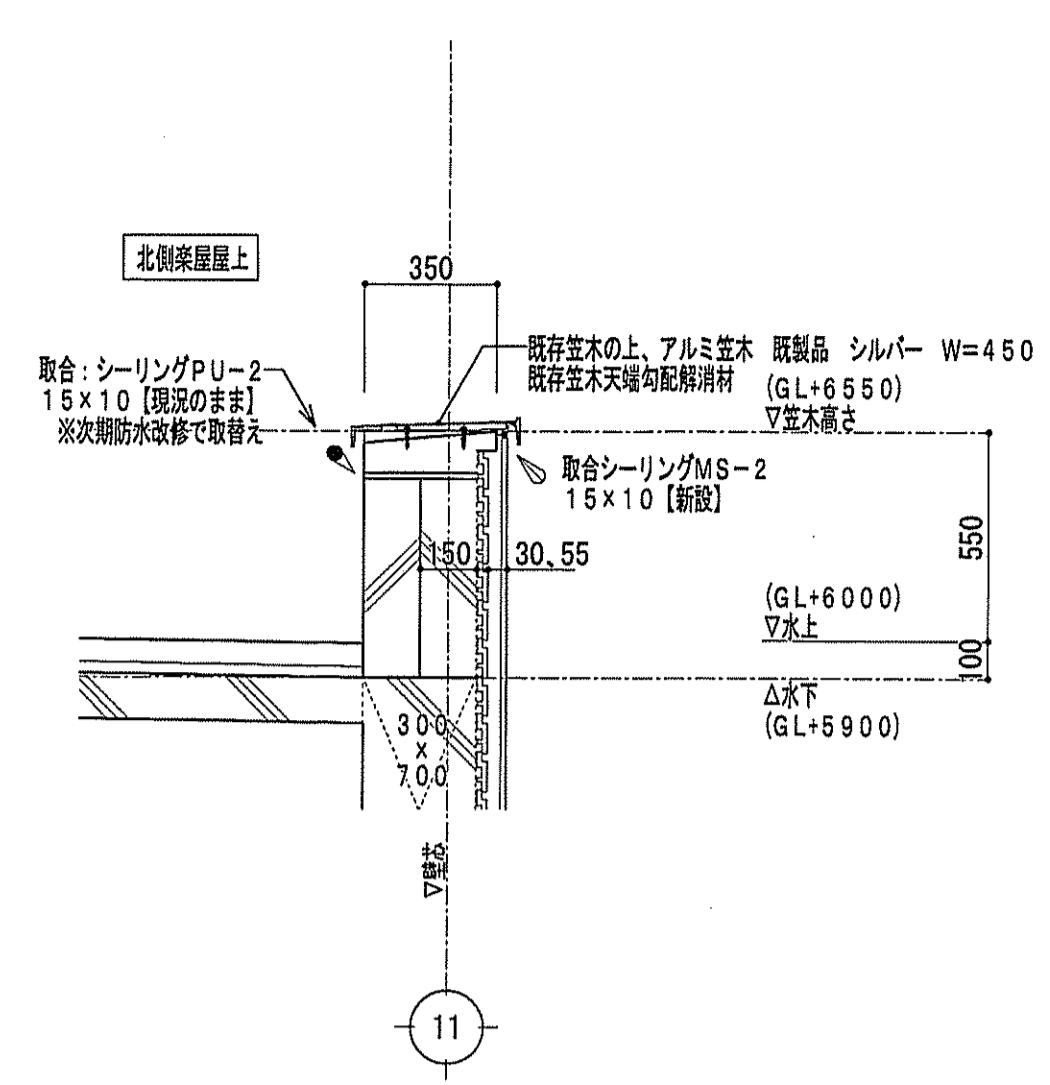
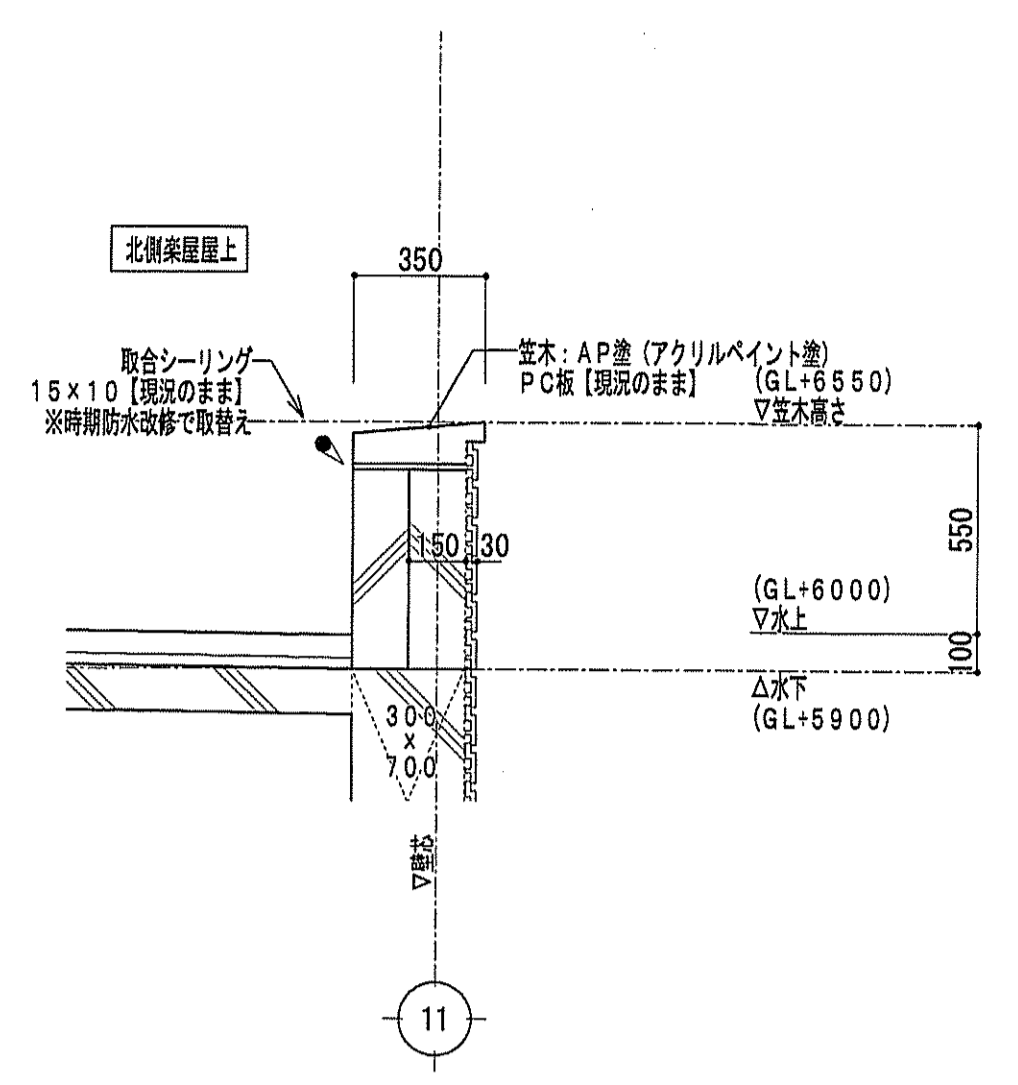


- 【共通事項】
- ▲ カッター入れ
  - ▨ 撤去範囲を示す
  - シーリング MS-2 10x10
  - シーリング MS-2 15x10
  - シーリング MS-2 20x10
  - シーリング PU-2 15x10
  - シーリング PU-2 20x10
  - シーリング PU-2 25x10



改修前

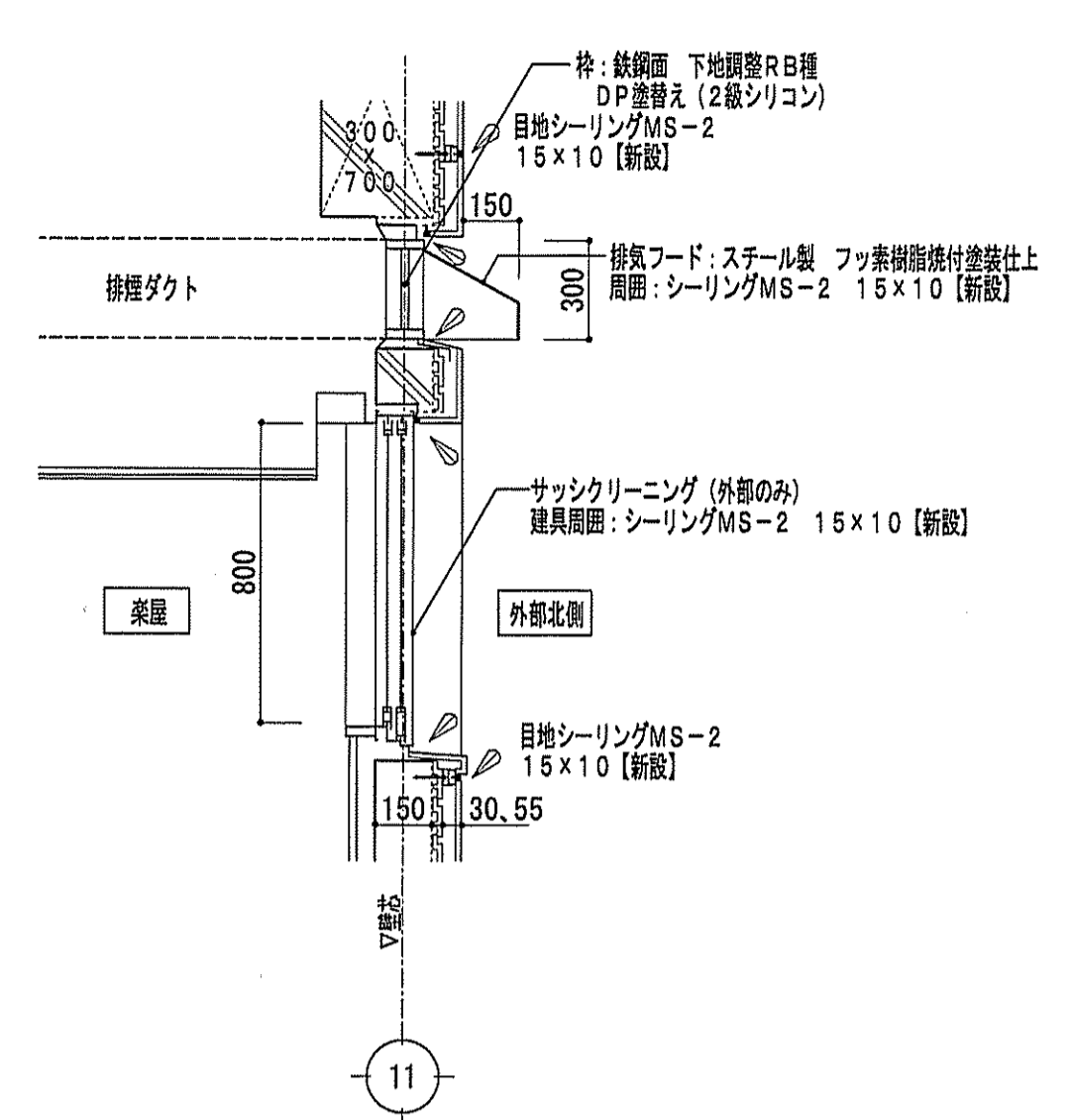
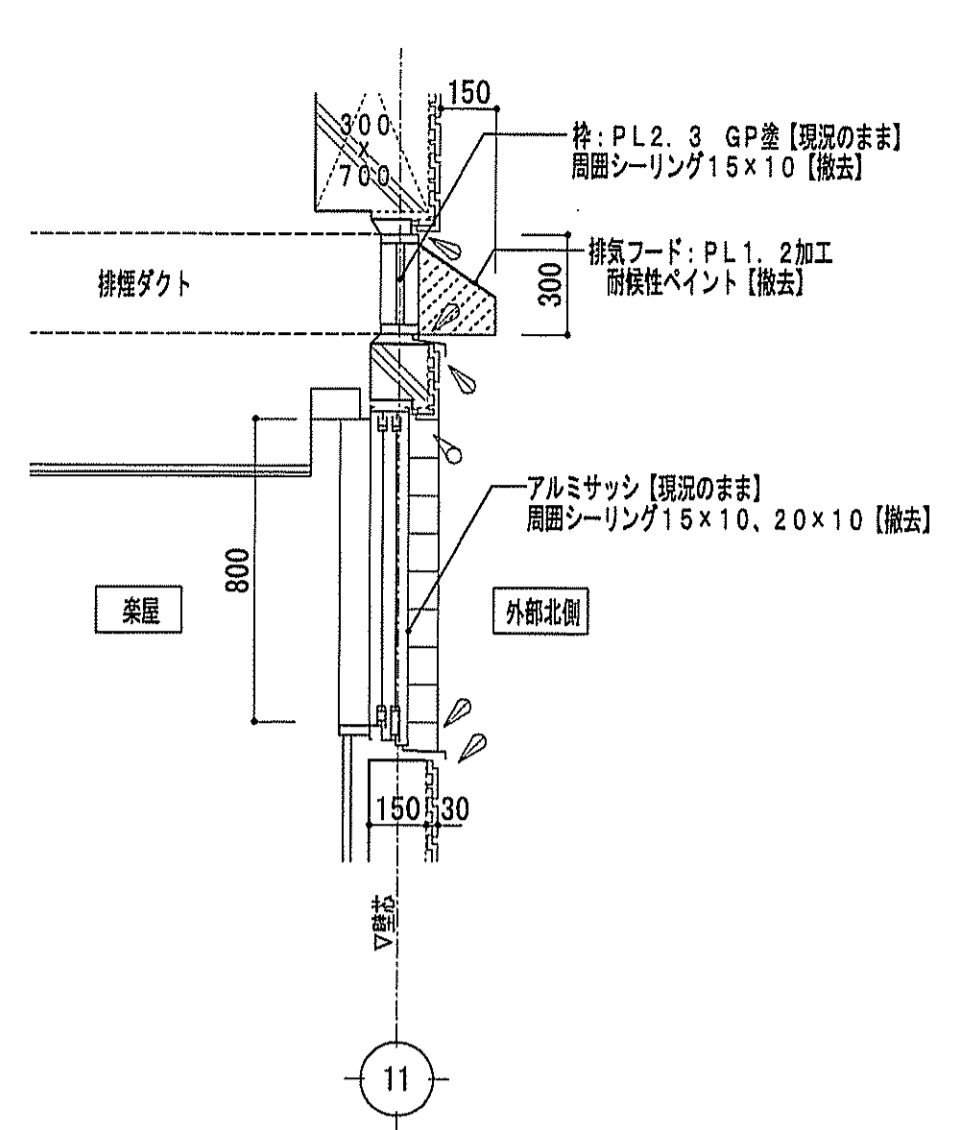
改修後



改修後

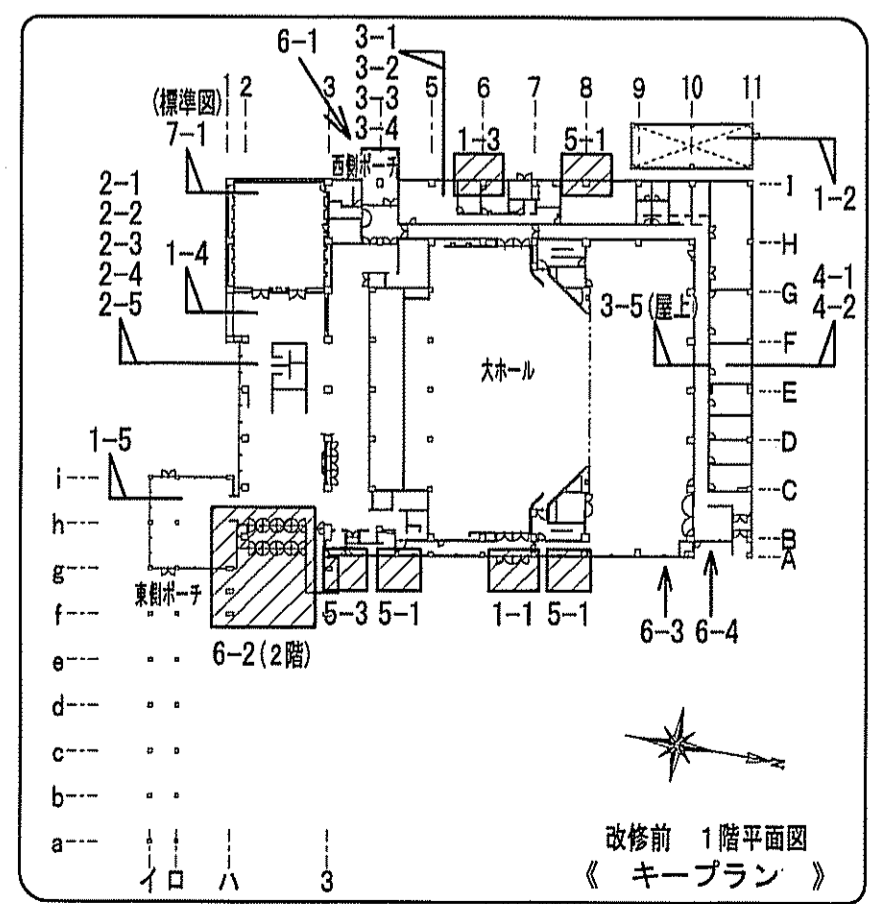
改修前

改修後



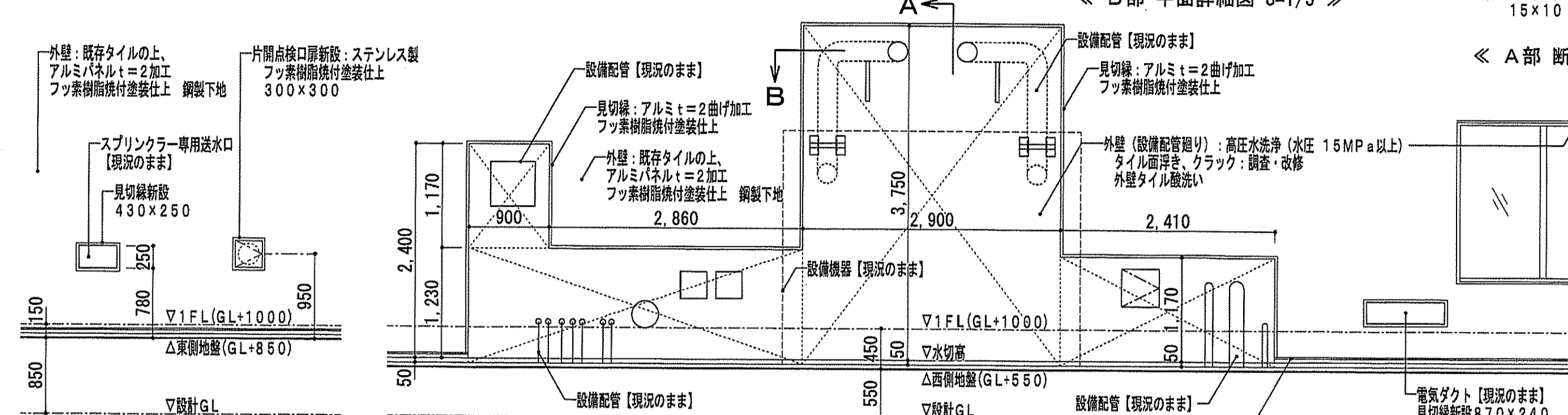
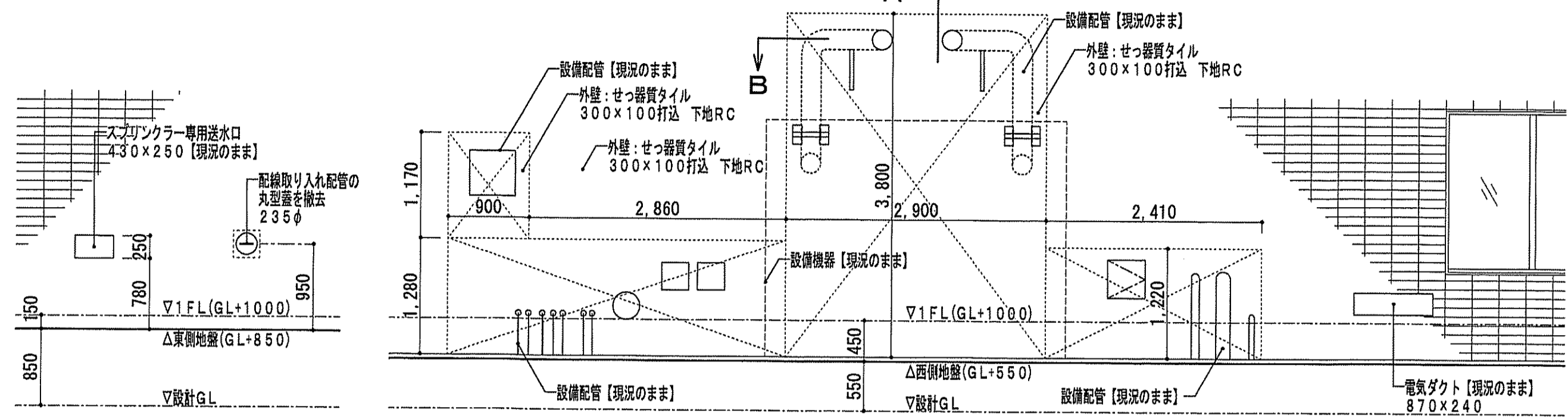
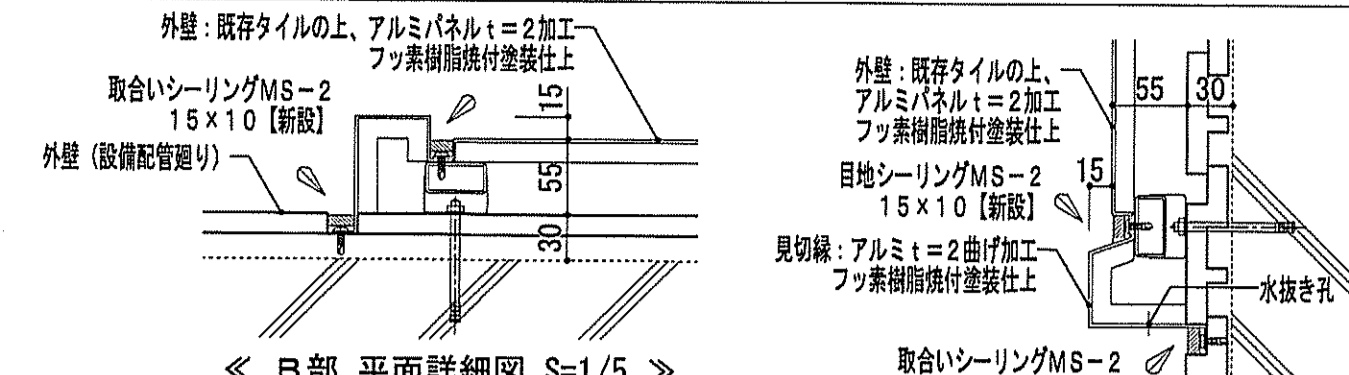
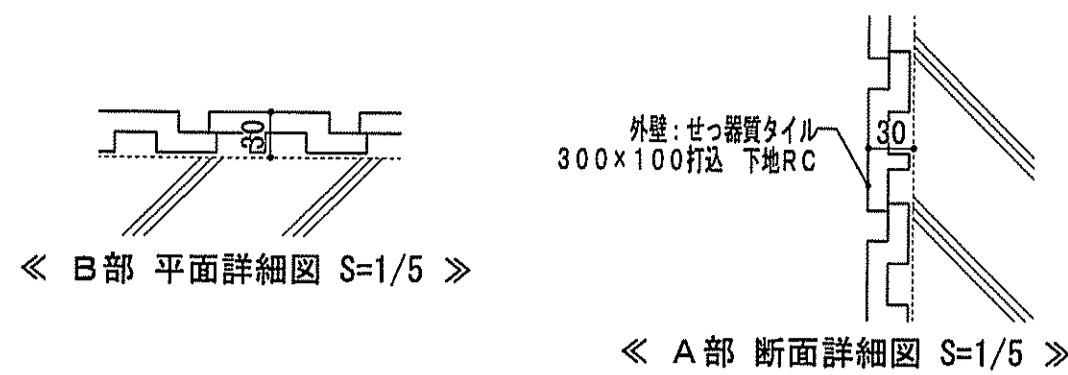
改修後

- (共通事項)
- ▲ カッター入れ
  - 撤去範囲を示す
  - シーリング MS-2 10x10
  - △ シーリング MS-2 15x10
  - ◇ シーリング MS-2 20x10
  - シーリング PU-2 15x10
  - ▽ シーリング PU-2 20x10
  - ▲ シーリング PU-2 25x10

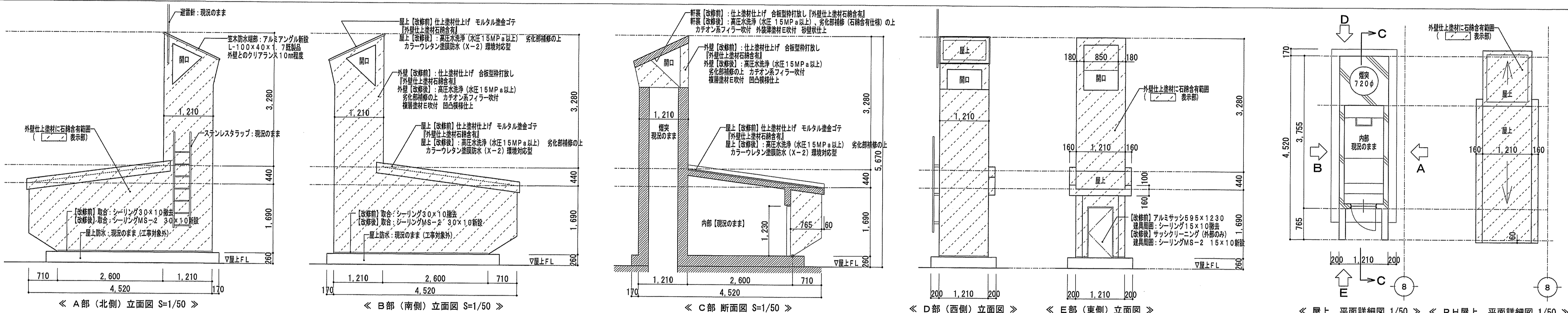


改修前

改修後

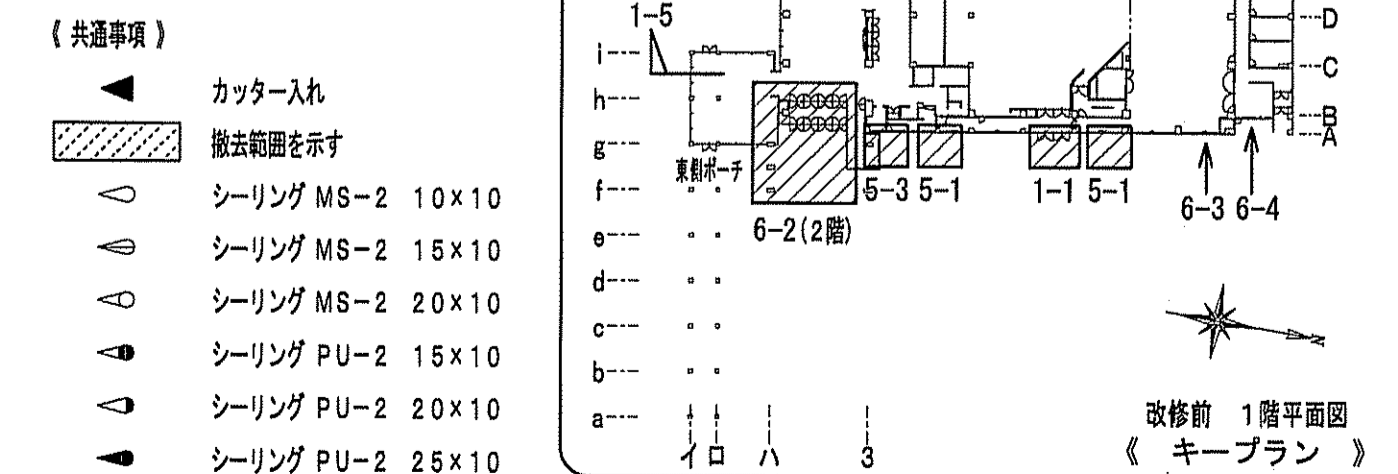
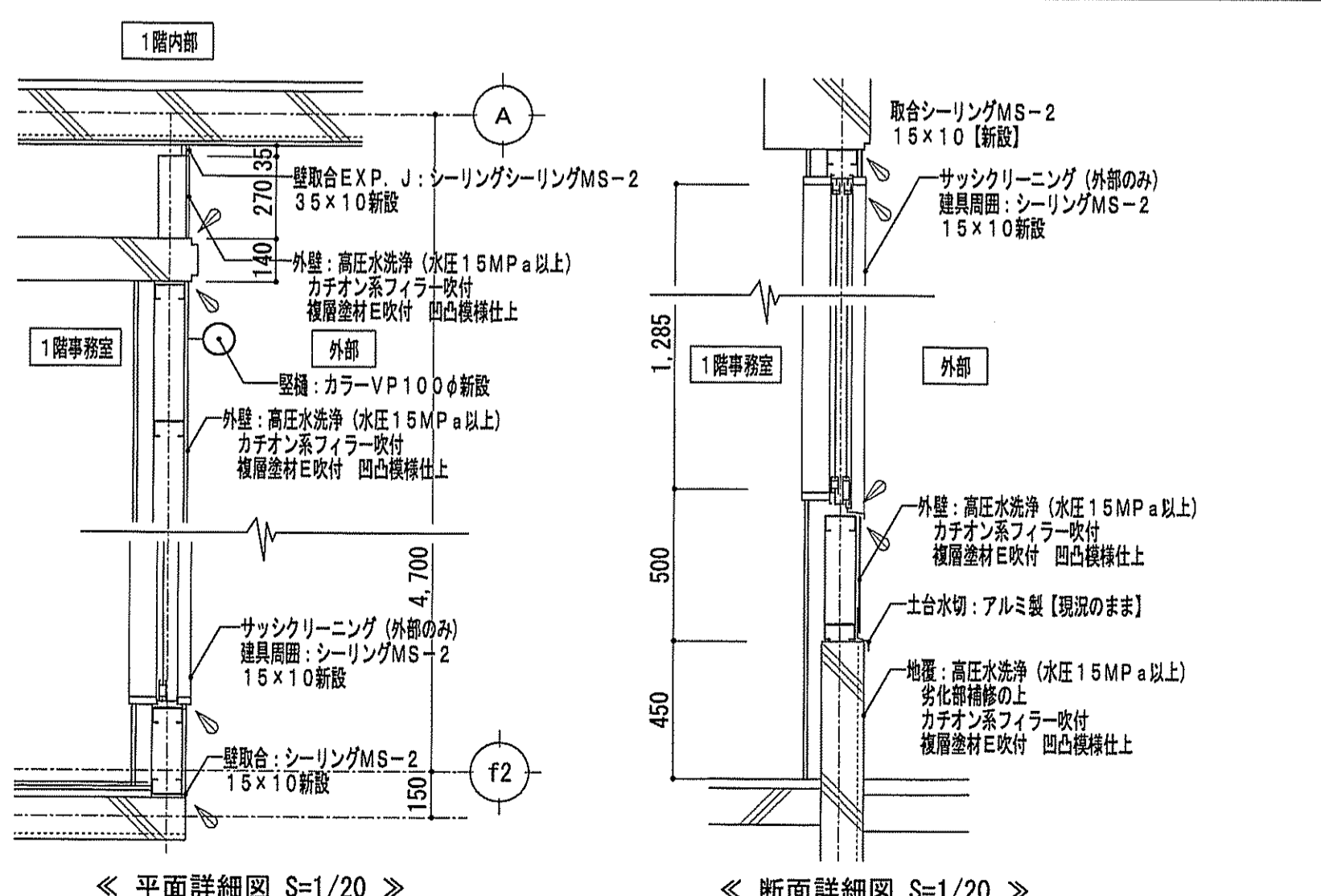
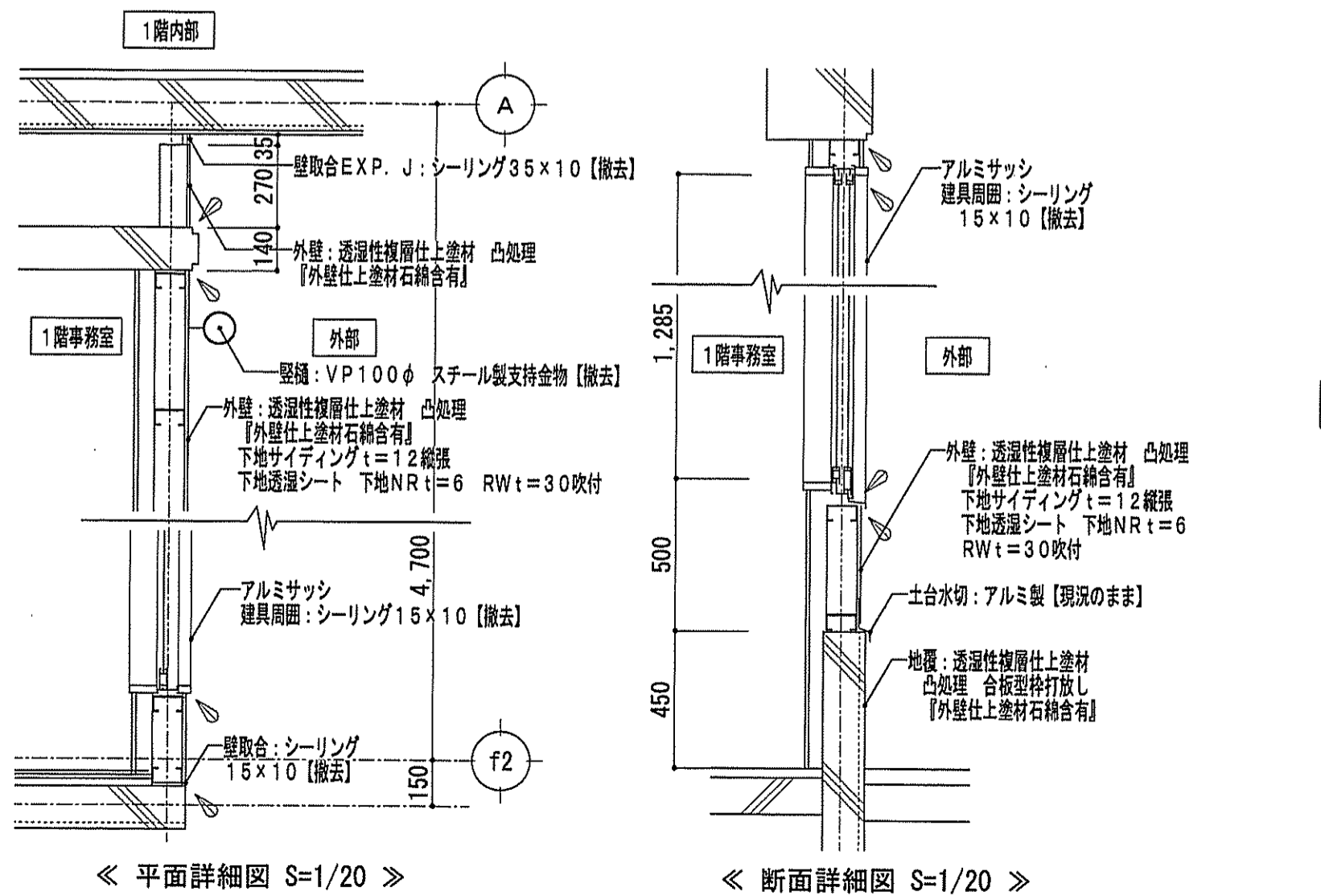


改修後



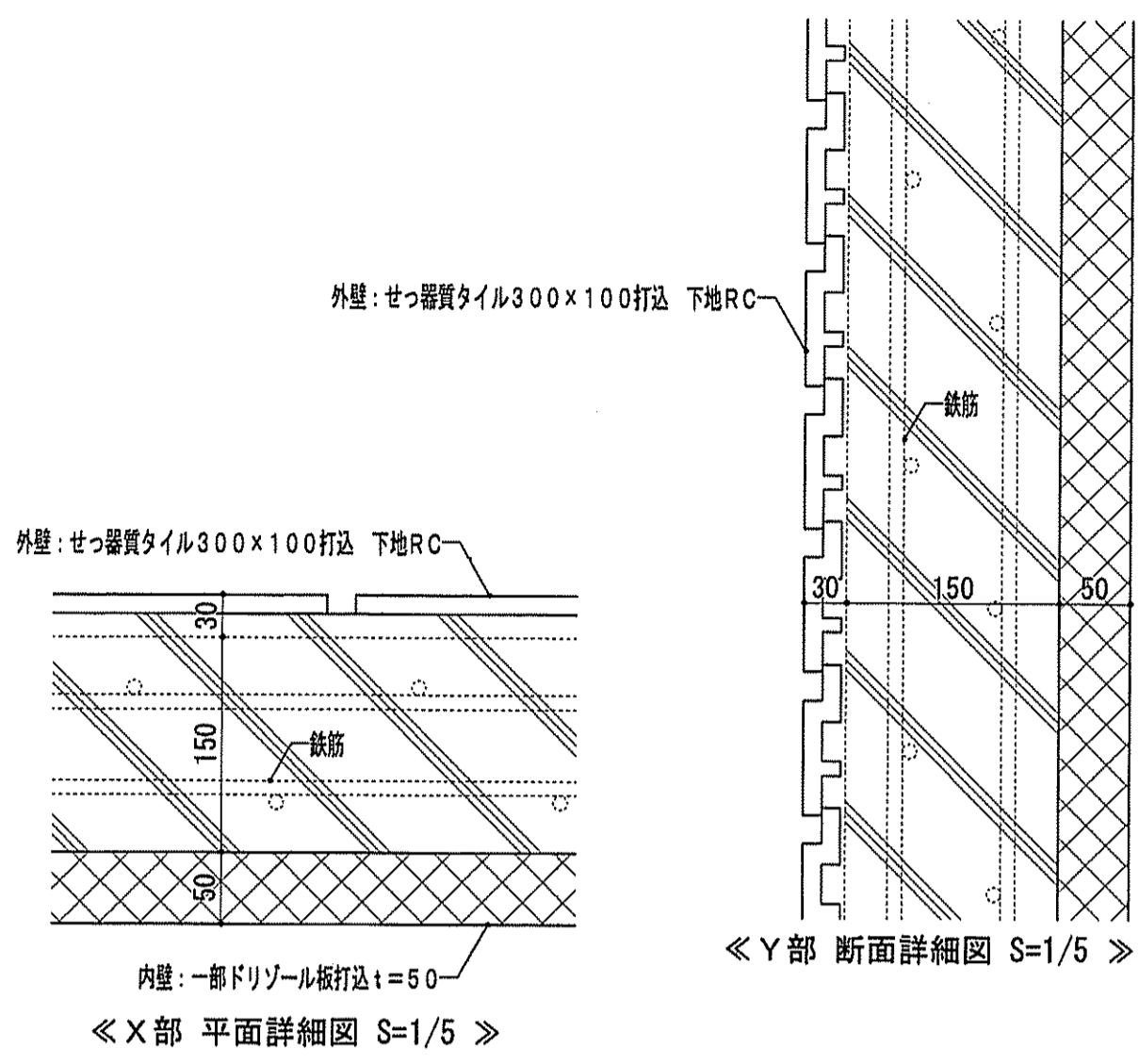
改修前

改修後

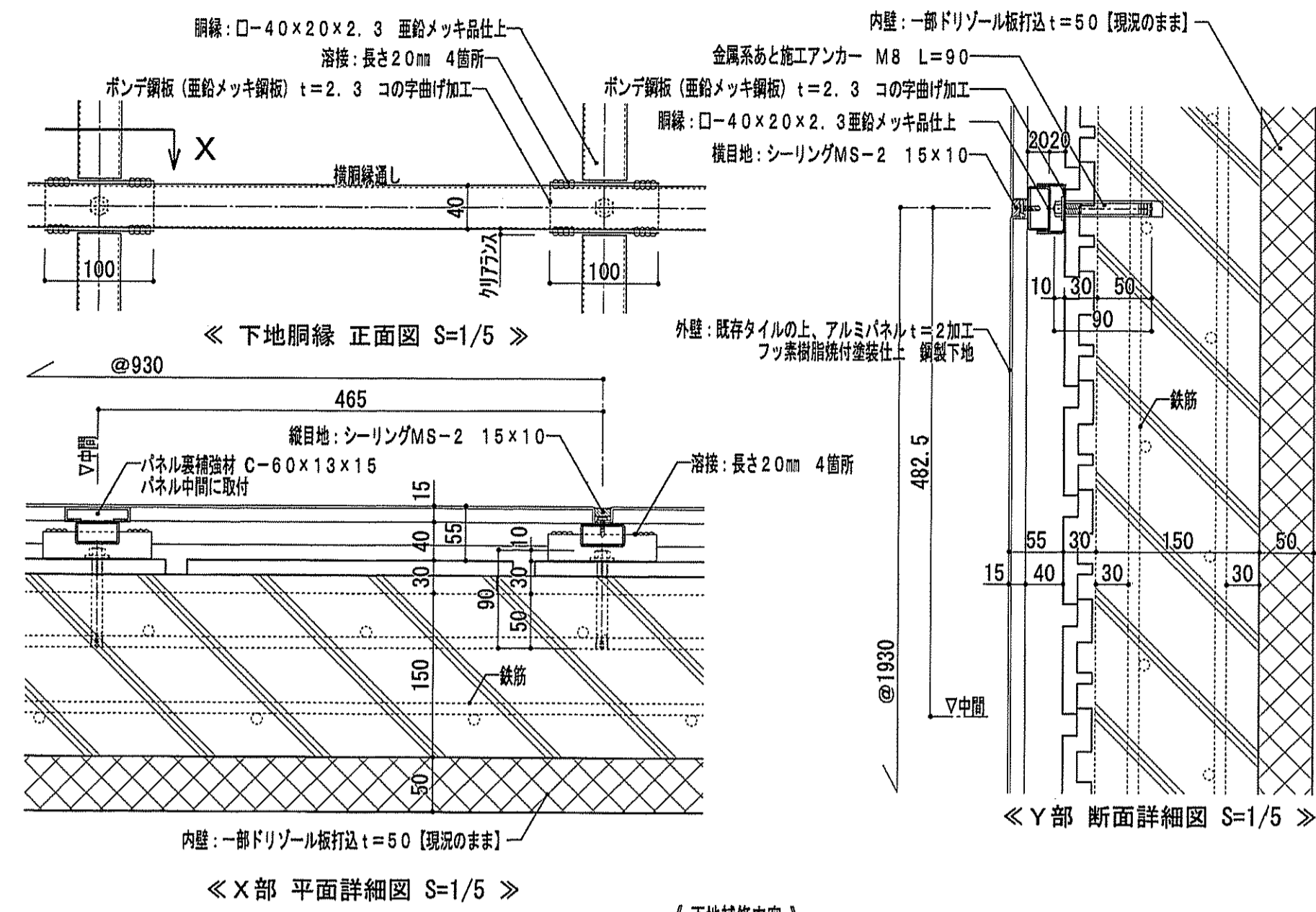




改修前



改修後



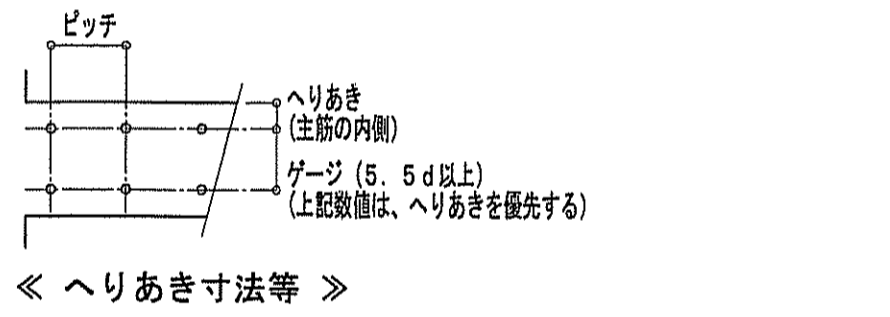
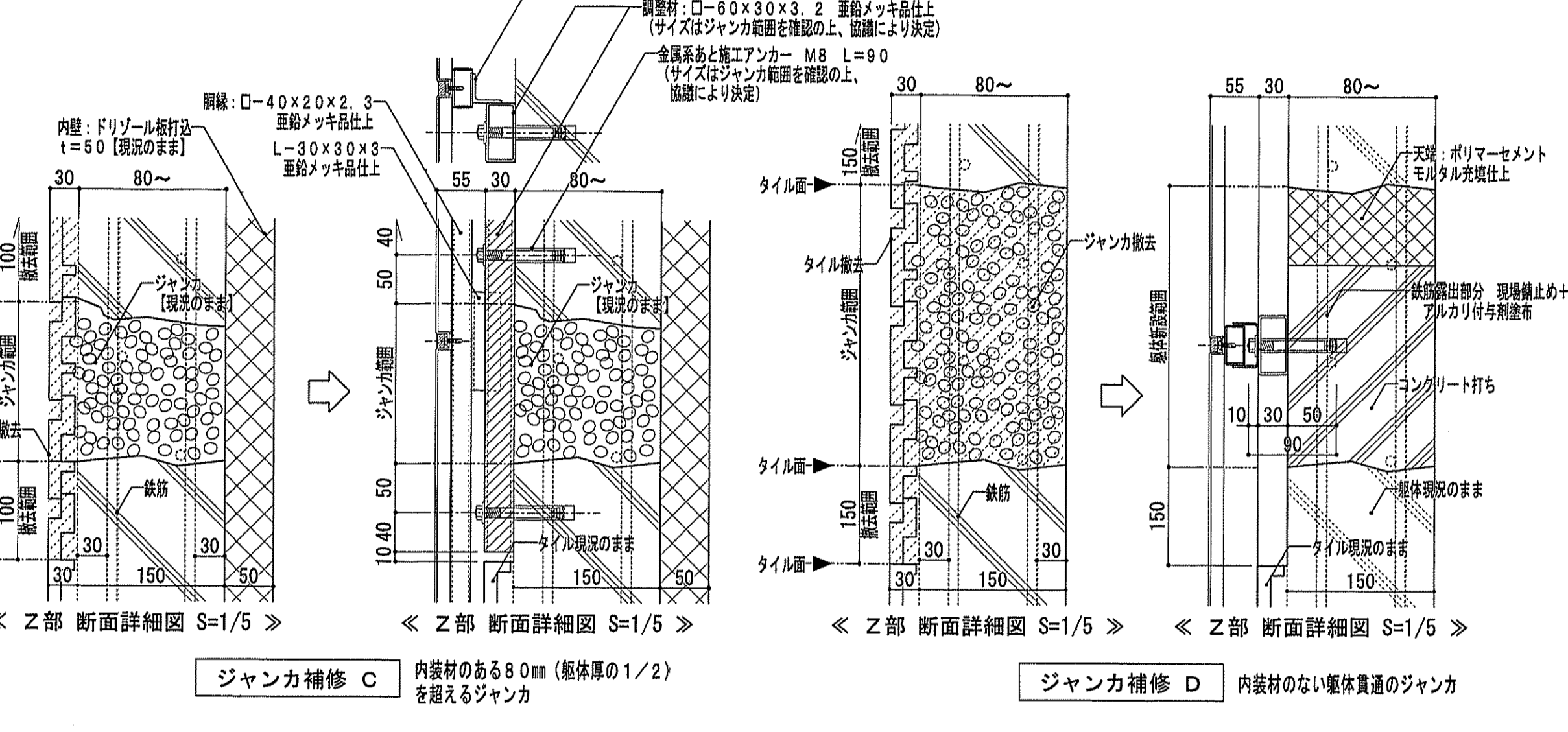
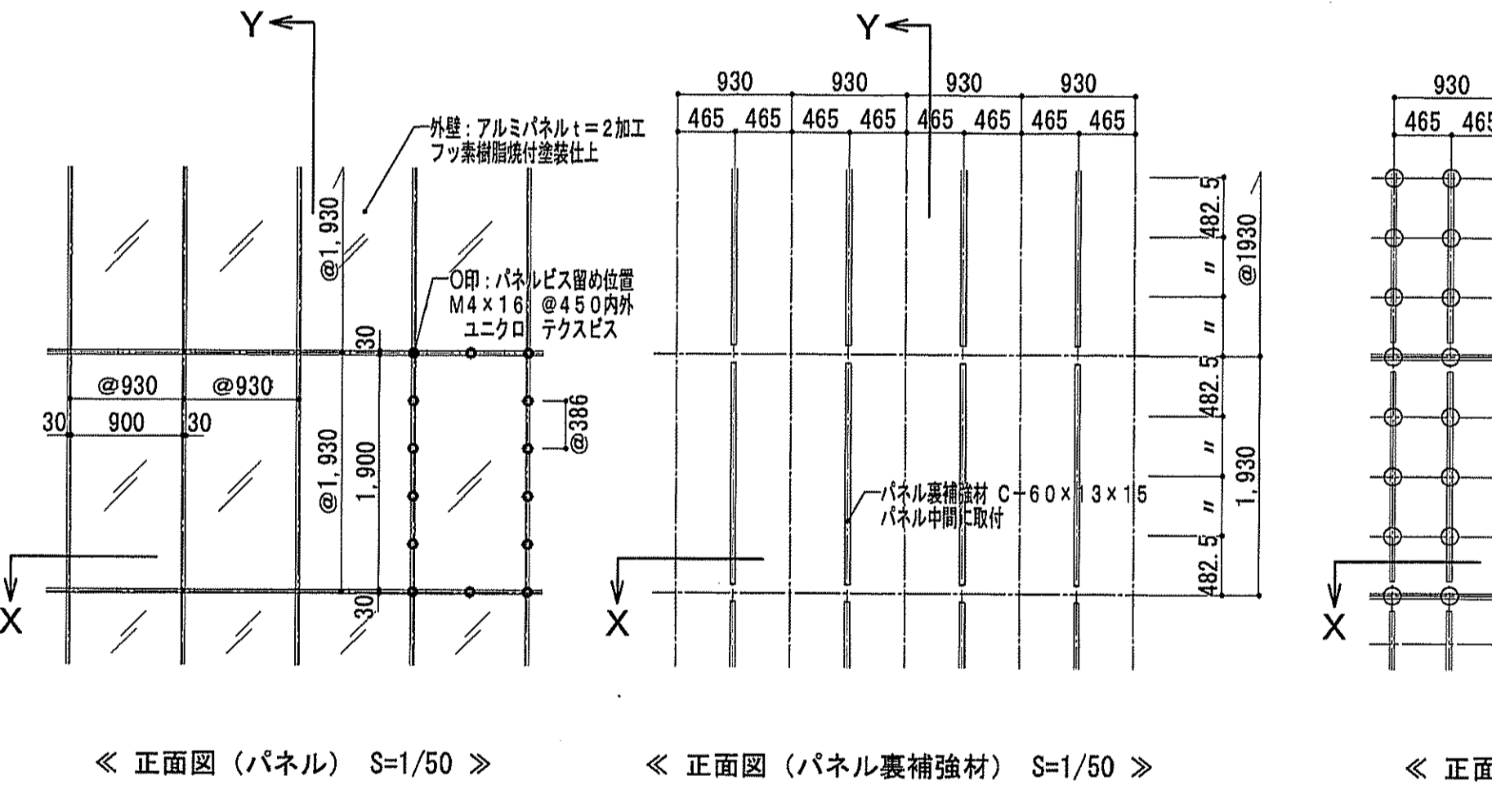
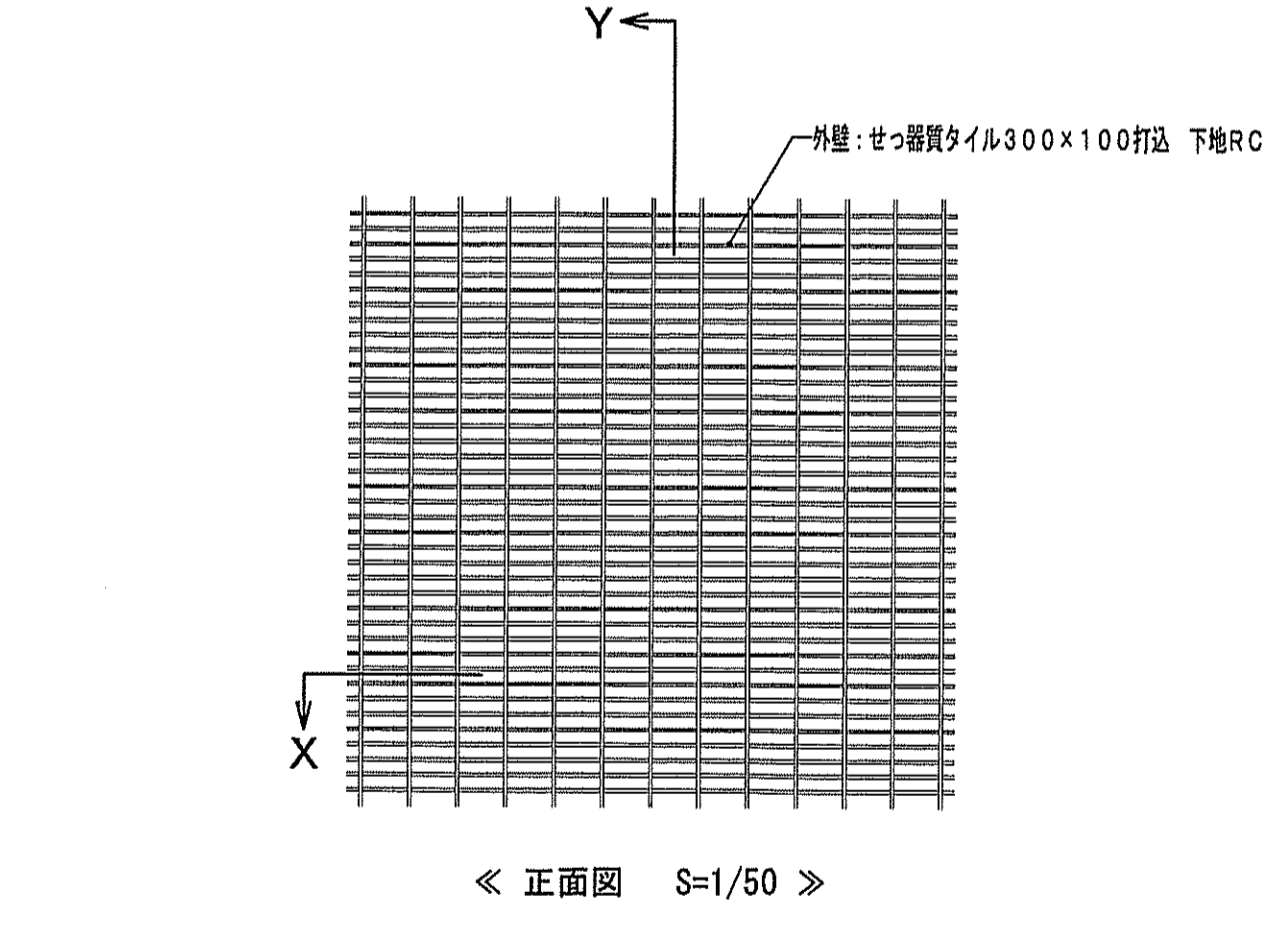
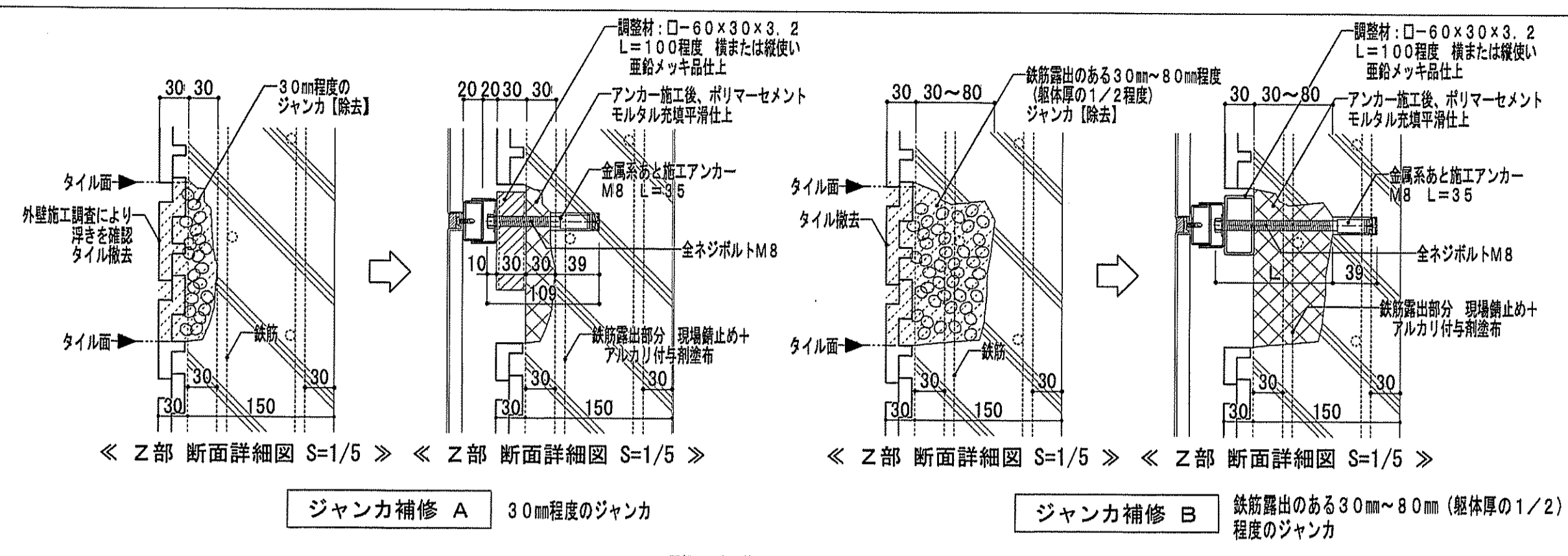
【地下補修内容】

1. タイル面を全量打診により、浮き及びタイル欠損調査の上、既存タイル面にマーキングを行い、計測後、報告書を作成する。マーキング及び図面には新設アンカー位置も記載する。
2. アンカー打ちに支障のある、タイルの浮き及び損傷部分のタイルを撤去する。
3. タイル撤去後、ジャンカが確認された場合ジャンカコンクリートを撤去する。
4. ジャンカA：30mm程度のジャンカは、アンカー施工後、ポリマーセメントモルタル充填平滑仕上とする。
5. ジャンカB：鉄筋露出のある30mm~80mm(躯体厚の1/2)程度のジャンカは、ポリマーセメントモルタル充填平滑仕上とする。
6. ジャンカC：内装材のある80mm(躯体厚の1/2)を超えるジャンカは、ジャンカ部分を現状のままとし、調整釘を取り付けアンカー位置を変更する。
7. ジャンカD：内装材のない躯体貫通のジャンカは、ジャンカ部分を撤去して新設コンクリート打設とする。
8. あと施工アンカーは、鉄筋や埋込み金物等を避けて施工する。
9. アンカーは当日の施工終了後または工事完了後に、目視検査及び接触打音検査を全量行う。また、打音検査結果を各面毎に3箇所行う。
10. アンカー打ちに際して、アンカーとジャンカが重複している場合、可能な限りアンカー位置を調整して、最低限のジャンカ補修とする。
11. また調整範囲は施工図を作成し、監督員と協議の上、決定する。
12. ビースおよび鋼線とも板厚が厚く深いため、母材自体に溶接熱が空くなど、施工的に溶接の品質確保が出来ない場合は、板厚をサイズアップして対応する。

金属系アンカー(芯棒打込み式) サイズ表		スチール製：三価クロメート処理				
ねじの呼び	全長L	ねじ長さl	最大取付物厚	アンカー埋込長さ	アンカー埋込長さ	最大所要引張(倍率)
M8	90mm	25mm	45mm	8.5mm	35mm	4.3mm以上 10.2N
M10	80mm	30mm	26mm	10.5mm	40mm	5.0mm以上 10.2N
	90mm	30mm	36mm	10.5mm	40mm	5.0mm以上 10.2N
	100mm	30mm	46mm	10.5mm	40mm	5.0mm以上 10.2N
	120mm	30mm	66mm	10.5mm	40mm	5.0mm以上 10.2N

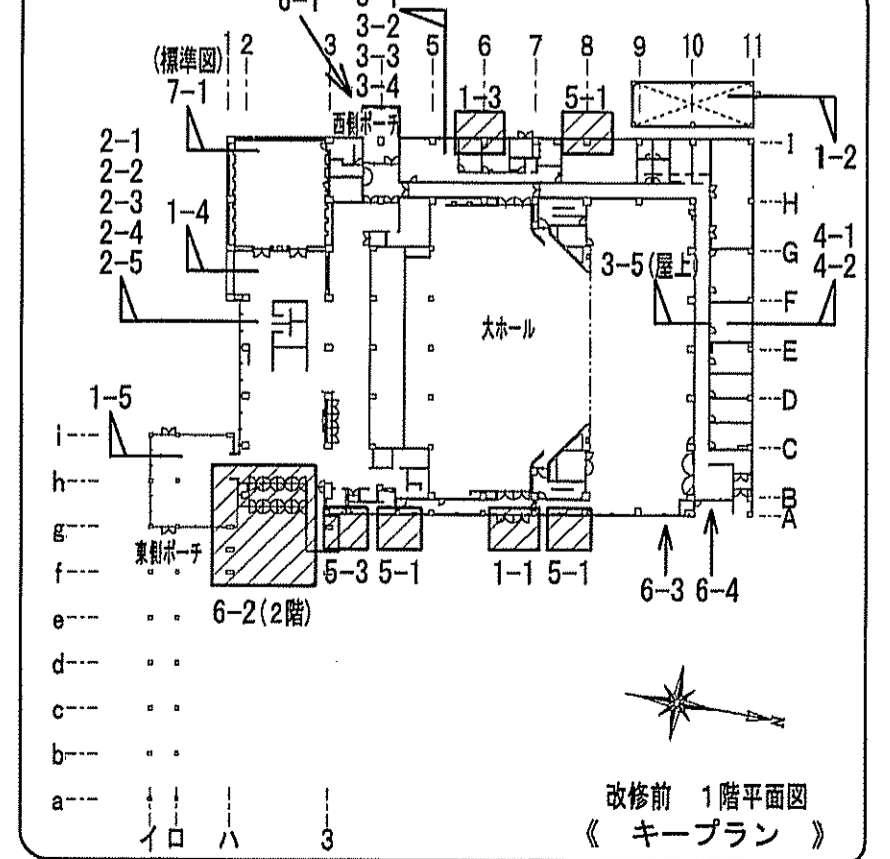
金属系アンカー(本体打込み式) サイズ表		スチール製：三価クロメート処理				
ねじの呼び	アンカー外径D	全長L	ねじ長さl	アンカー埋込長さ	アンカー埋込長さ	最大所要引張(倍率)
M8	12mm	35mm	13mm	12.5mm	35mm	3.9mm以上 12.7N
M10	14mm	40mm	15mm	14.5mm	40mm	4.5mm以上 14.9N

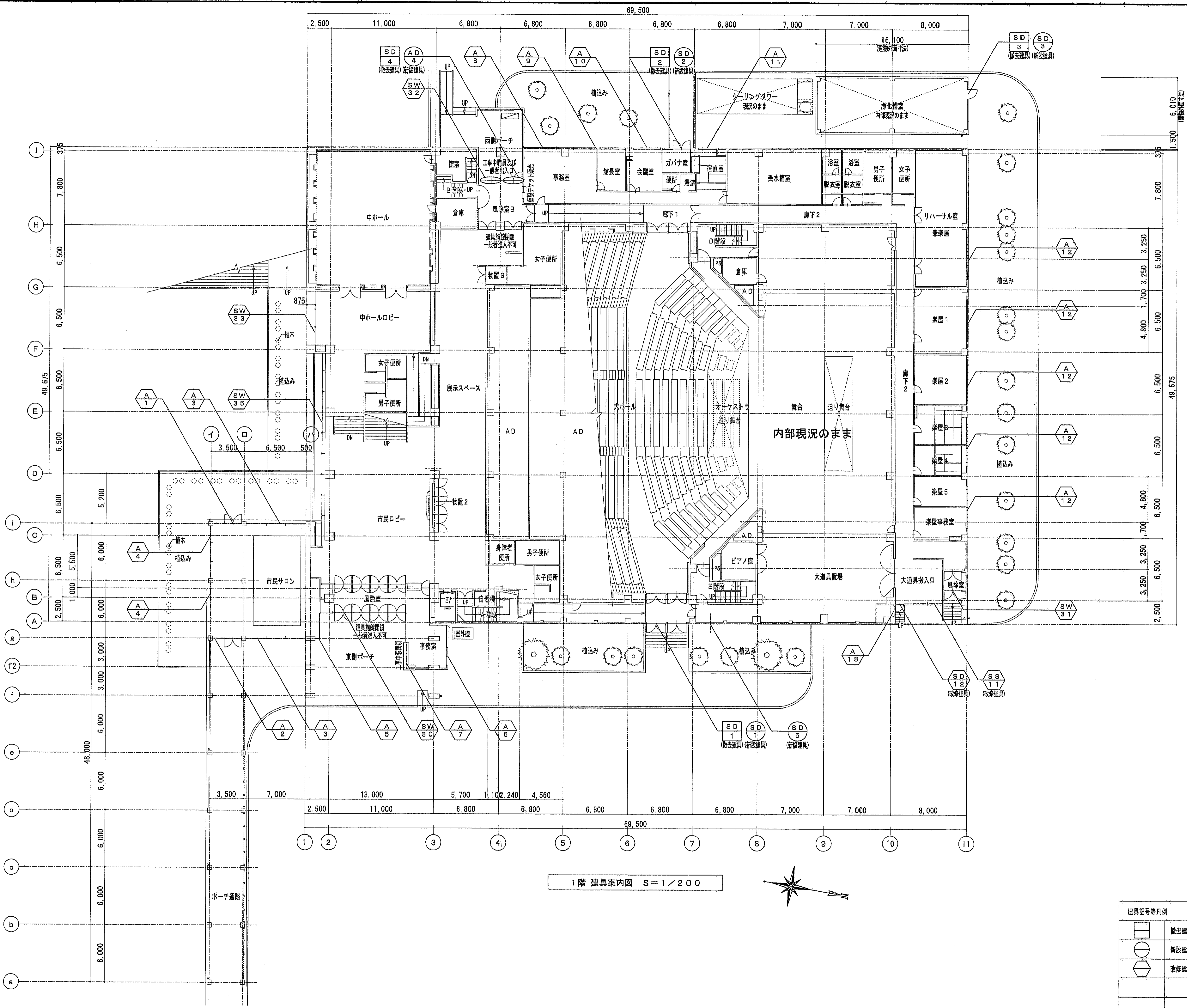
あと施工アンカー J CAA 認証品とする。



- 【共通事項】
- ▲ カッター入れ
  - 撤去範囲を示す
  - シーリング MS-2 10×10
  - シーリング MS-2 15×10
  - シーリング MS-2 20×10
  - シーリング PU-2 15×10
  - シーリング PU-2 20×10
  - シーリング PU-2 25×10

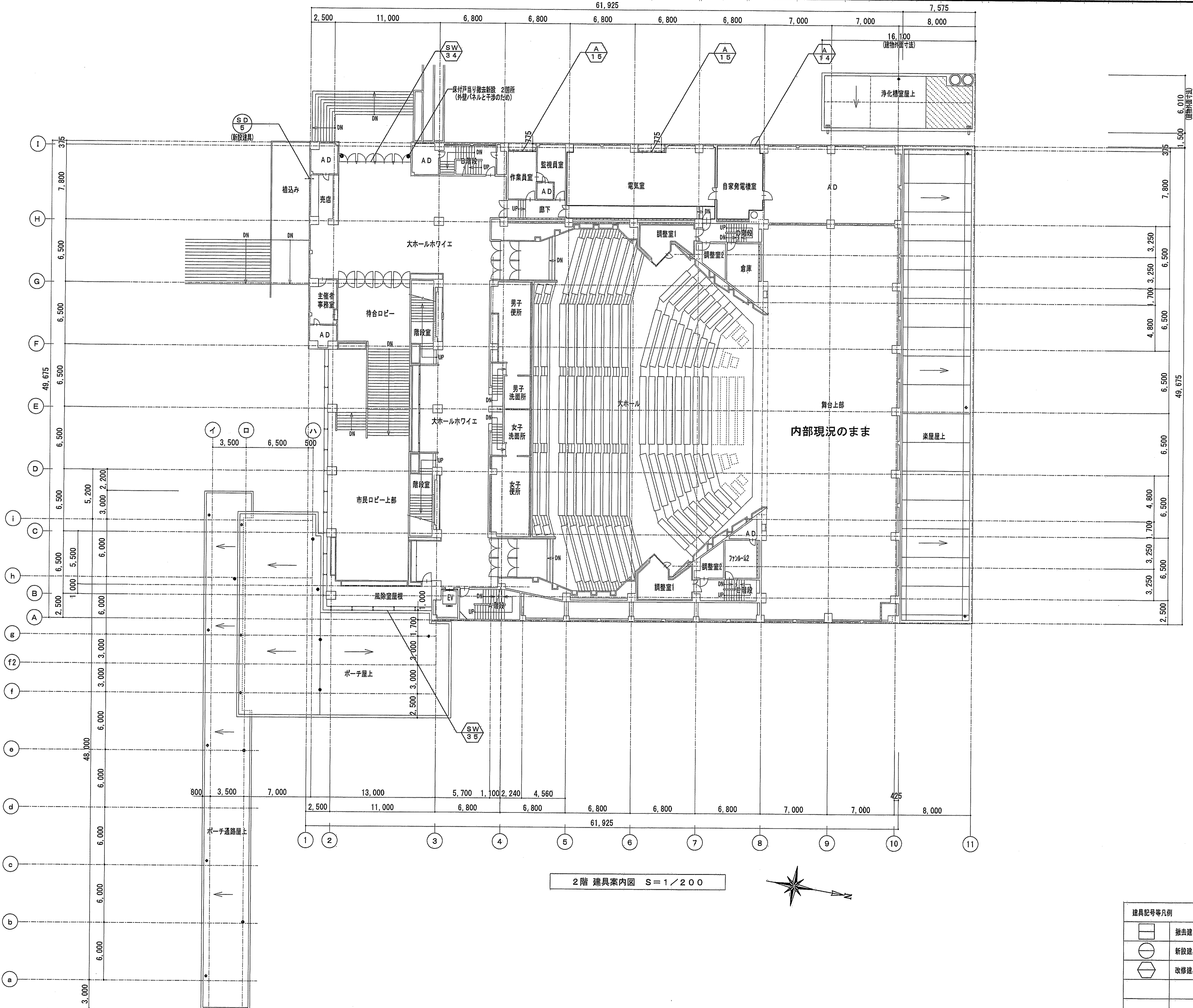
1. 一般事項  
a) 設計図書類に記載なき事項は、監督員と協議する。
2. 工事計画  
また本工事は、下記の内容に特に注意して施工する。  
・ 現地実測寸法に基づいた施工図を作成し、監督員の承認を得る。  
・ 施工に先立ち、施工計画書を作成し、監督員の承認を得る。  
・ 工事中の騒音、粉塵及び落下物の危険防止を考慮した施工を行う。  
・ 設備用取付管等の有無を事前に調査し、支障のないように施工する。
3. 使用材料  
a) (適用事項はO印で示す)  
普通コンクリート : 適合管理強度は「標」による  
設計管理強度 : ステンジック 使用箇所 : 備考  
○ Fc=2.1N/mm<sup>2</sup> : 1.8mm以下 ・ ジャンカ補修壁 : 脱離剤入り  
○ Fc=2.4N/mm<sup>2</sup> : 1.8mm以下 ・ ジャンカ補修壁 : 脱離剤入り  
○ Fc=2.4N/mm<sup>2</sup> : 1.8mm以下 ・ ジャンカ補修壁 : 脱離剤入り  
・ 水セメント比・水結合材比 : 65%以下  
・ 単位セメント量 : 300kg/m<sup>3</sup>以上(膨張材含む)とする  
・ あと施工アンカー : 金属系アンカー  
・ その他の材料 : 上記以外の材料でも、特別な調査・研究成果を示すことにより、監督員の承認を得て使用することができる。
4. 材料試験  
下記の材料は、「標」に従い材料試験を行う。  
普通コンクリート : 圧縮強度試験(各打設日毎 管理試験用 3本(標準・4週) 圧縮強度推定用 3本(現水または標準・4週))  
注：・ 圧縮強度試験(四強試験)は、すべて公称強度で行う。
5. ジャンカコンクリートのはつり  
a) 撤去方法及びはつり層等、速やかに場外へ搬出し、作業現場を整理した上での工程にかかる。
6. あと施工アンカー  
a) あと施工アンカーの施工は、施工管理技術者及び、技能者は枚量の証明となる資料を監督員に提出し、承認を受ける。  
b) 穿孔前に、既存鉄筋等の位置を自認等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。  
c) あと施工アンカー取付に際し、穿孔の位置、深さ、径及び垂直度を確認し、アンカー埋込前内部の切屑等を除去する。  
d) 現場施工されたあと施工アンカーは、全数の打音検査により、その面精度を確認し、監督員に報告する。
7. 型枠  
a) 型枠は現地実測に基づいた躯体法で施工する。  
b) 型枠は、コンクリート打設・打設方法・セパレーターの取付け方法等を考慮して設計する。  
c) 既存部分と型枠の取合い時は、モルタル等の漏れが生じないよう適切な処置を講ずる。  
d) 型枠は、できるだけ型枠振動機が使用しやすいように組立てる。
8. コンクリート打設  
a) 既存鉄筋コンクリートの打設範囲及び型枠はよく吸水するので、打込み直前まで水湿しが必要である。型枠工事の開始前、打込みまで数回の水湿しを行う。ただし、水湿しできるほど濡れてはならない。  
b) コンクリートの打設にはハイレーターの使用、またはタタキにより密実なコンクリートとなるように充分な施工手順を立てる。  
c) コンクリートの養生期間中は充分な湿度管理(散水等)で養生する。  
また、養生期間中は振動等を与えないようにする。  
d) コンクリート打込み後5日間はコンクリートの養生期間とする。





1階 建具案内図 S=1/200

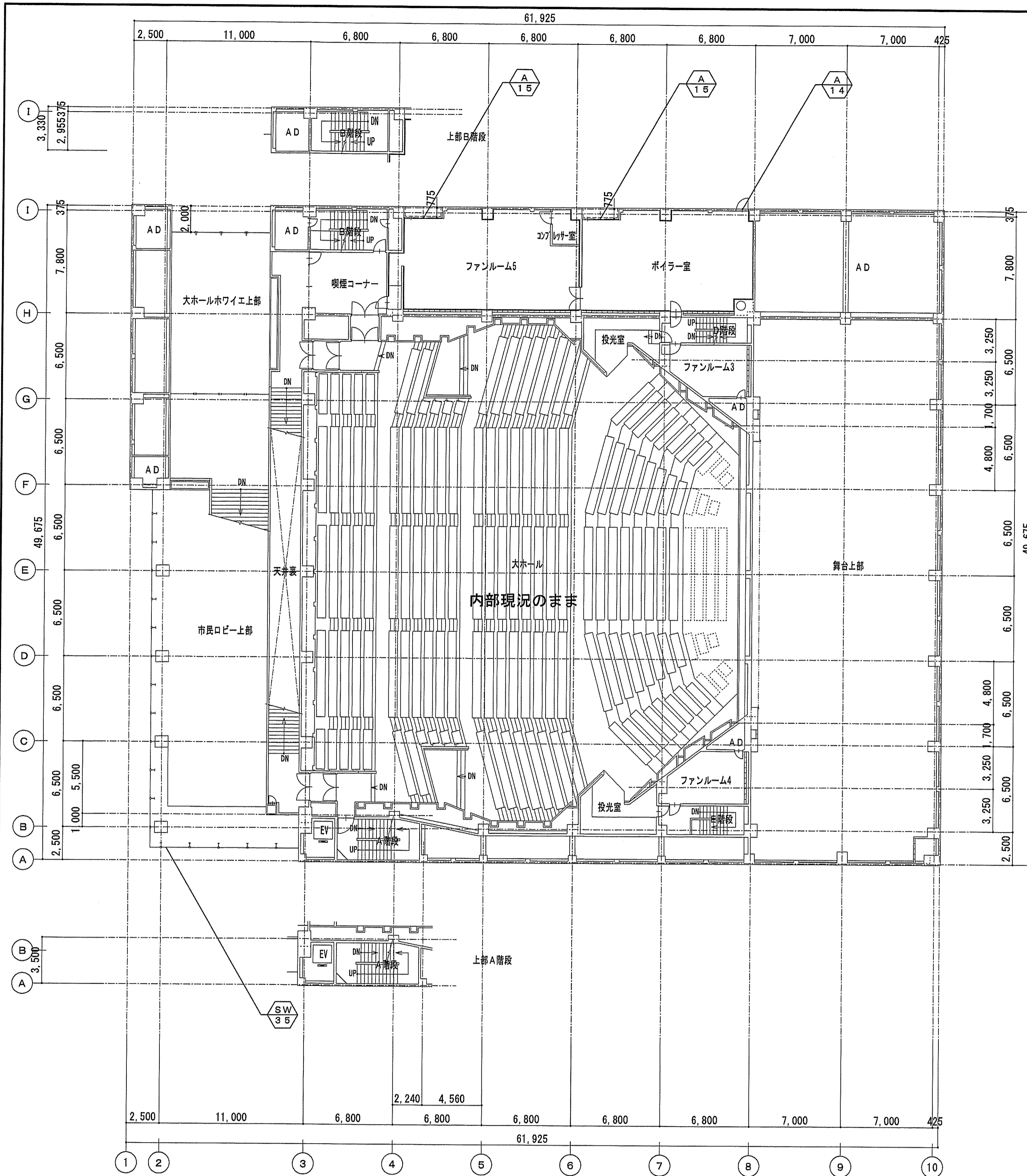
建具記号等凡例	
	撤去建具を示す。
	新設建具を示す。
	改修建具を示す。



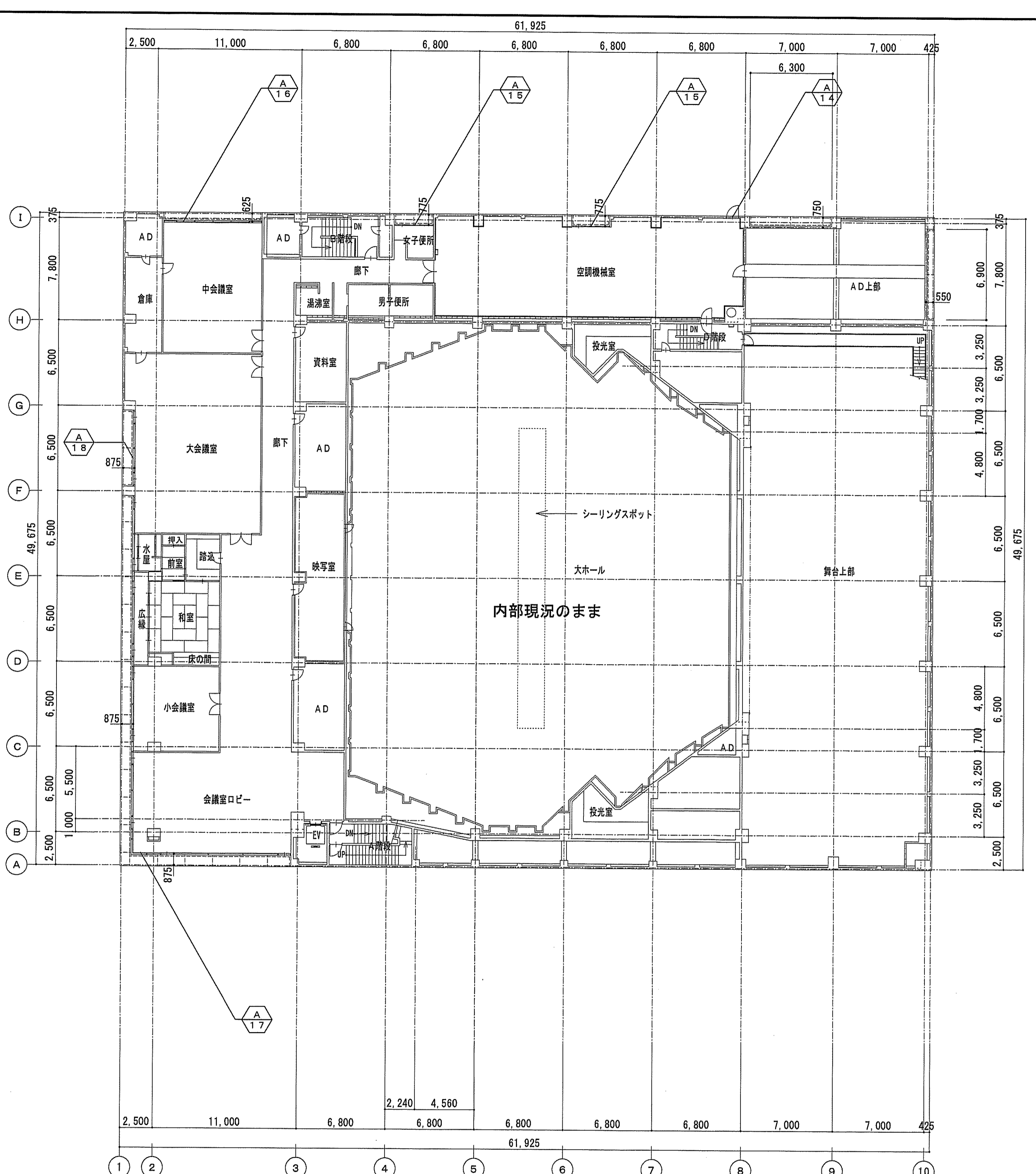
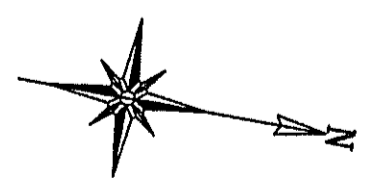
2階 建具案内図 S=1/200

建具記号等凡例	
	撤去建具を示す。
	新設建具を示す。
	改修建具を示す。



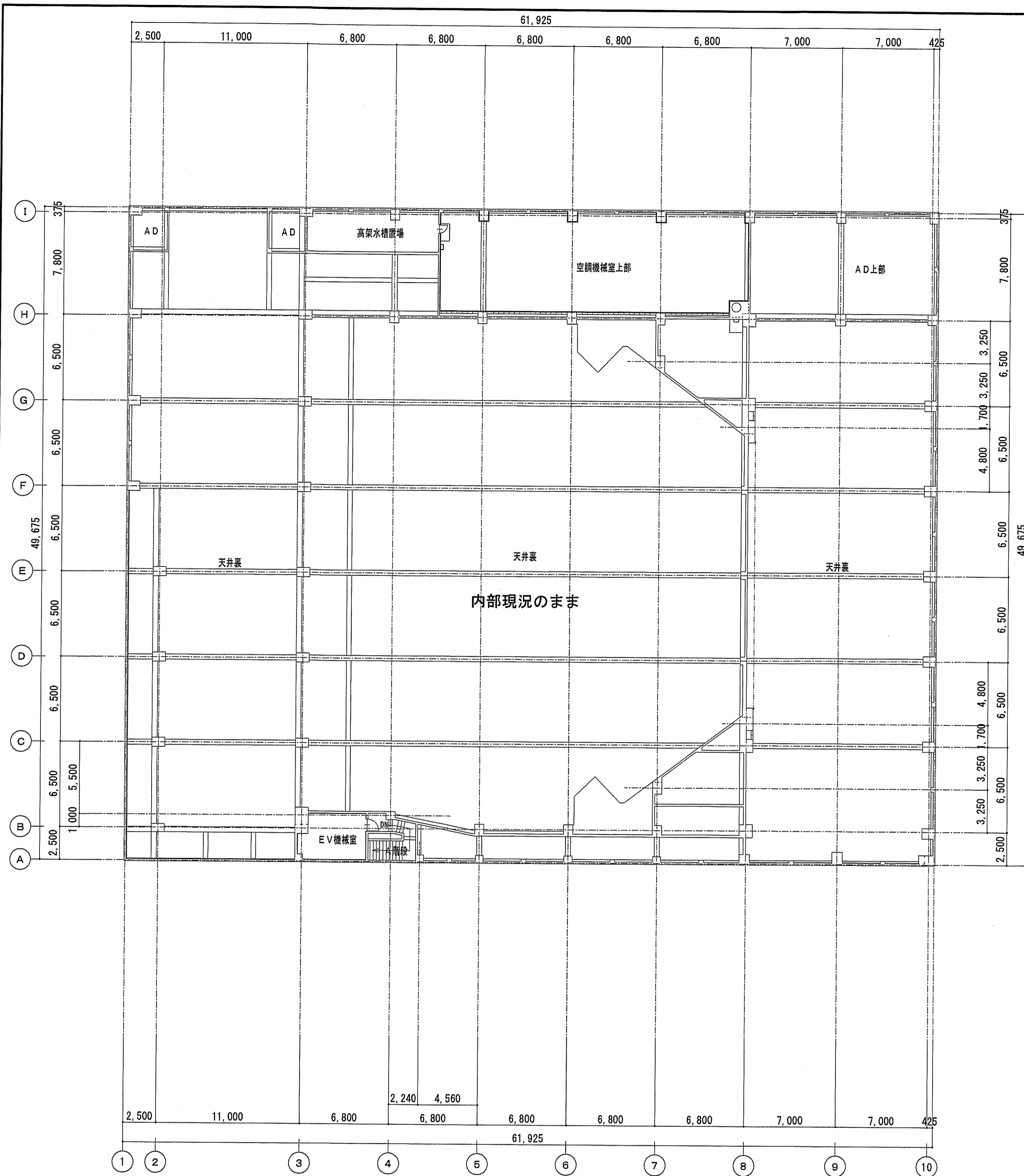


3階 建具案内図 S=1/200

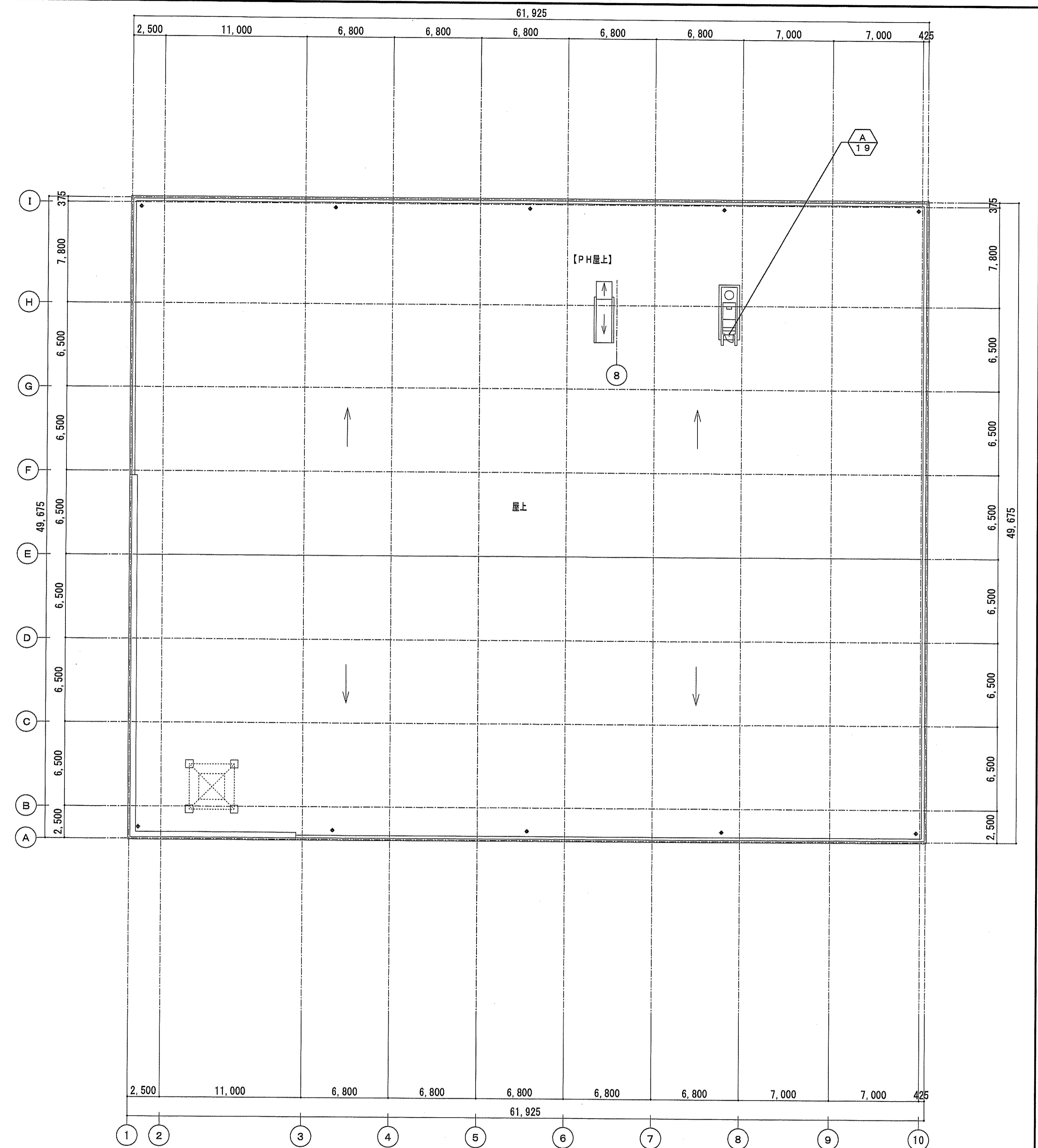


4階 建具案内図 S=1/200

建具記号等凡例	
	撤去建具を示す。
	新設建具を示す。
	改修建具を示す。



5階 建具案内図 S=1/200



屋上 建具案内図 S=1/200

建具記号等凡例	
	撤去建具を示す。
	新設建具を示す。
	改修建具を示す。

記号・数量	SD 1 【カバー工法用に撤去】						SD 2 【カバー工法用に撤去】						SD 3 【カバー工法用に撤去】						SD 4 【カバー工法用に撤去】					
	合計	1階	2階	3階	4階	-	合計	1階	2階	3階	4階	-	合計	1階	2階	3階	4階	-	合計	1階	2階	3階	4階	-
室名	1階 東側非常口						1階 西側ガバナ室						1階 浄化槽棟						1階 西側風除室B					
形状																								
形式	両開フラッシュ戸						両開フラッシュ戸						片開フラッシュ戸						両開戸付片引自動ドア					
仕上	ステンール 内部OP塗、外部GP塗(耐候性ペイント塗)						ステンール GP塗(耐候性ペイント塗)						ステンール GP塗(耐候性ペイント塗)						枠、両開戸:ステンール 耐候性ペイント 自動ドア:アルミ(着色) ビル用					
見込	厚:40 枠:100						厚:40 枠:100						厚:40 枠:100						100					
硝子	—						—						—						吸熱ガラスt=6					
金物	付属金物一式、ステンレス下枠、ステンレス水切板、ピボットヒンジ、シリンダー錠、非常錠 ロックウール充填防音扉、枠4周合成ゴムストリップ付						付属金物一式、ステンレス下枠、ピボットヒンジ、モノロック錠 フランス落し、枠4周合成ゴムストリップ付						付属金物一式、ステンレス下枠、ピボットヒンジ、レバーハンドル、シリンダー錠						付属金物一式、フロアヒンジ、フランス落し、シリンダー錠、押棒					
備考	防火指定なし						防火指定なし						防火指定なし											
記号・数量																								
室名																								
形状																								
形式																								
仕上																								
見込																								
硝子																								
金物																								
備考																								
記号・数量																								
室名																								
形状																								
形式																								
仕上																								
見込																								
硝子																								
金物																								
備考																								

**建具記号等凡例**

	撤去建具を示す。

**共通事項**

1. 撤去部分を示す。

撤去